

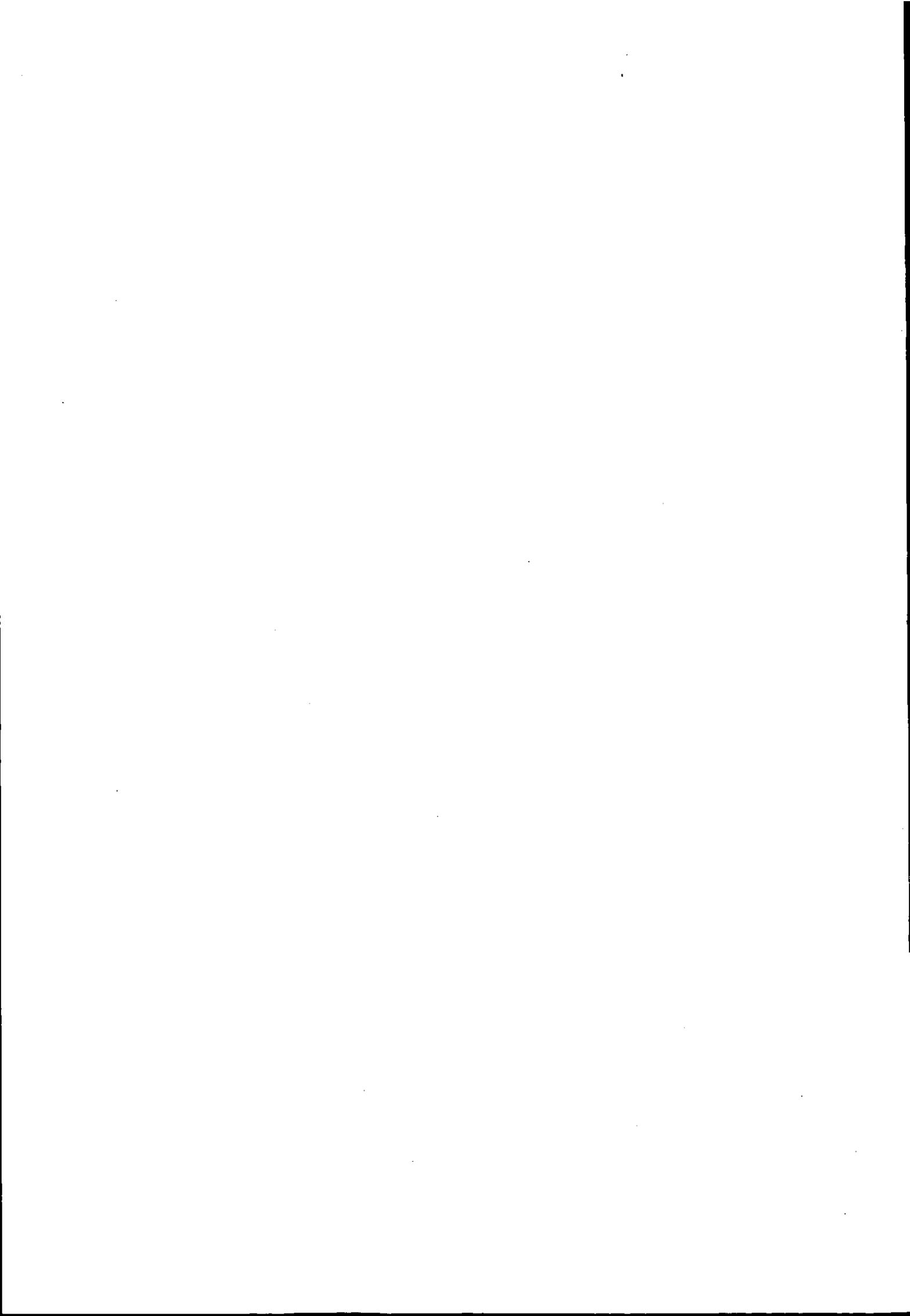
61-DPC-4

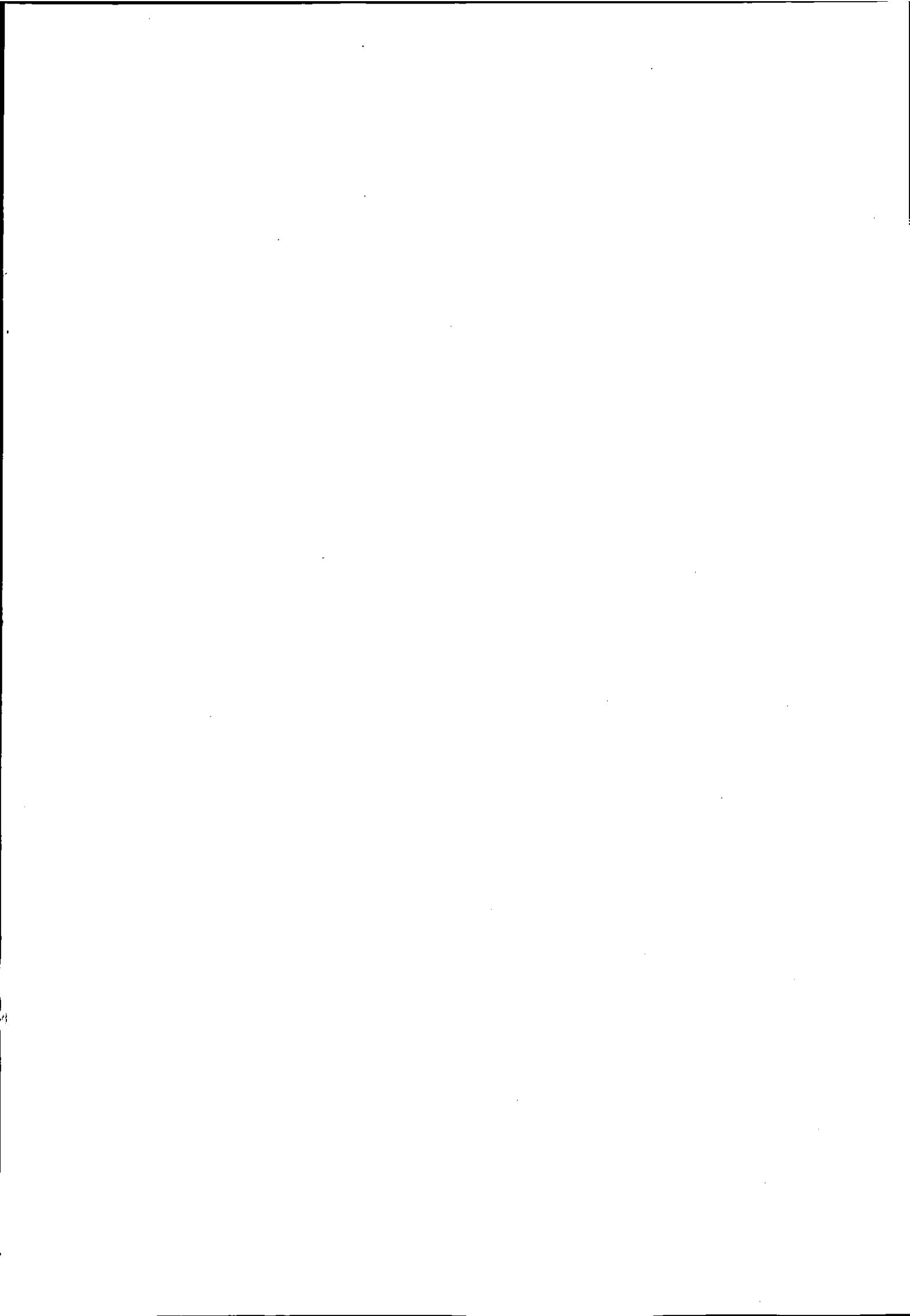
保存本

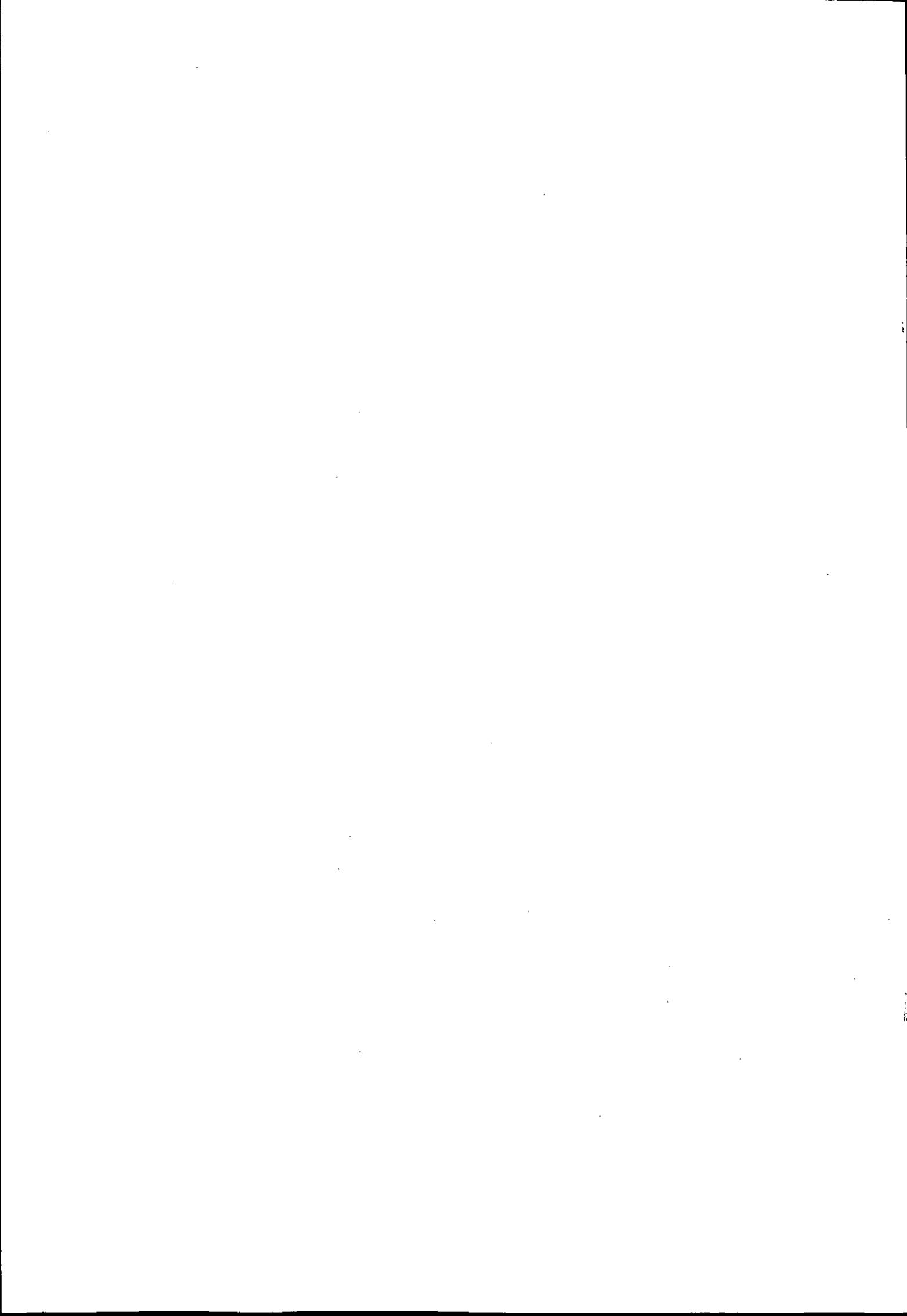
公共料金処理通知の共同化に
関する調査報告書

昭和62年1月

財団法人 データベース振興センター







はじめに

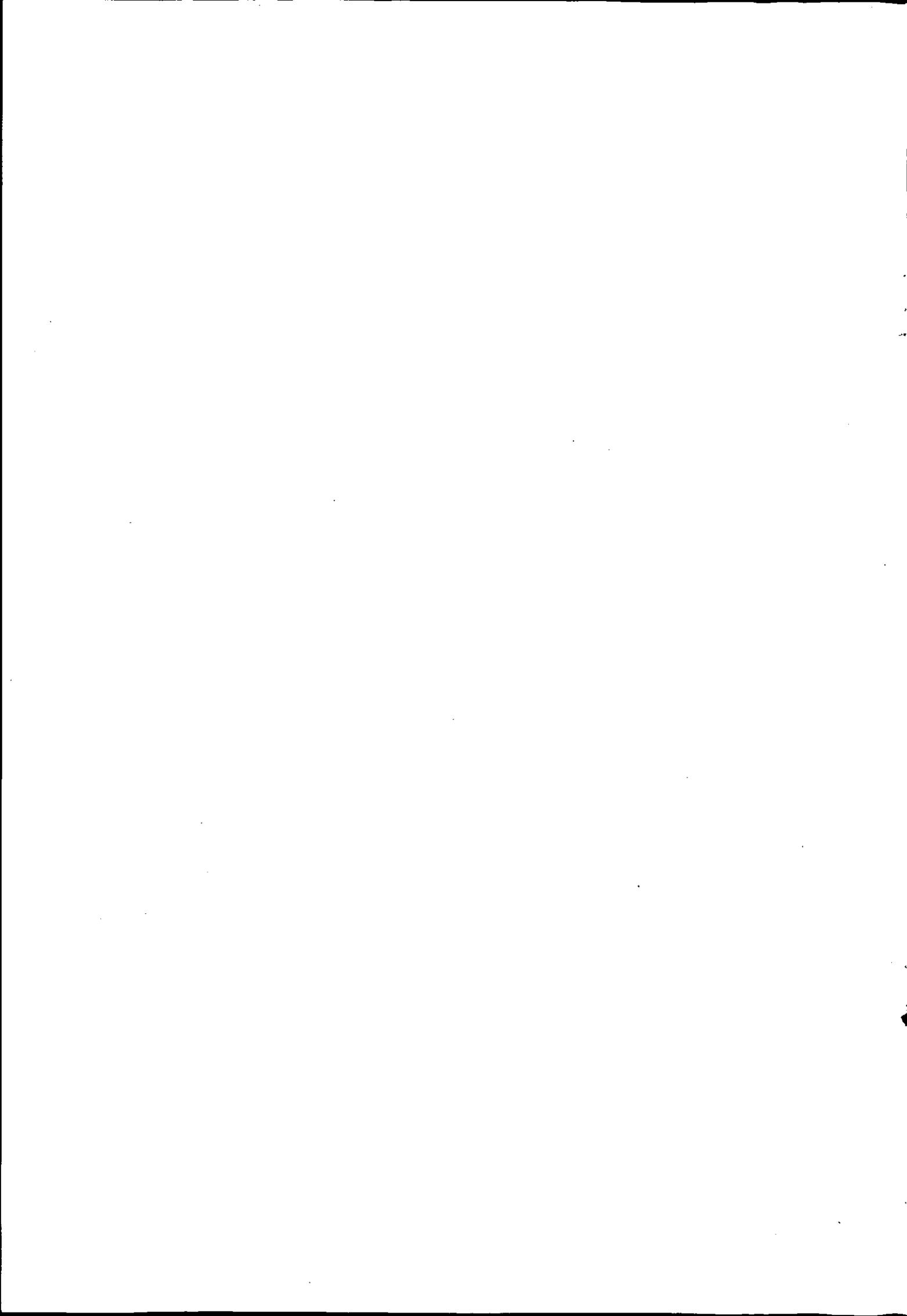
現在、電気・ガス・水道・電話・NHK受信料などの公共料金は、金融機関からの引落しが一般化しており、この払込み通知、すなわち振替えにともなう領収証の発行がそれぞれ個別に行なわれており、国民経済的に無駄が多いと考えられております。また、消費者にとっても、引落日の指定ができない、引越しにともなう住所変更の連絡を各社個別にしなければならない等、現在のシステムに種々の不満を感じているとの声を聞くことがあります。

本委員会では、このような問題の解決策の一つとして、まず、処理通知の共同化の問題を取り上げ、どんな問題点があるか現状の認識から入り、共同化するための問題点を洗い出し、考えられるモデル案のメリット・デメリット等を含め検討することにいたしました。

本報告書は、その成果をとりまとめたものですが、公共料金の処理通知に関してご関心のある方々のご参考になれば幸いに存じます。

昭和62年 1 月

財団法人 データベース振興センター
理事長 円城寺 次郎



公共料金処理通知システム調査研究委員会名簿

委員長	石崎純夫	産業能率短期大学教授
副委員長	井深隆雄	(財)データベース振興センター企画部長
委員	江原建一	日本電信電話(株)電話企画本部営業推進部料金担当部長
	鈴木健治	東京ガス営業計画部料金グループ総括
	鈴木仁	システムズ・アナリスト・ソサイアティ研究員
	松村勝	東京電力(株)営業部営業管理課長
	宮沢則雄	日本放送協会営業本部推進部副部長
幹事	見嶋正憲	日本通信販売協会顧問
	渡辺龍雄	(財)データベース振興センター専務理事
事務局	鈴木茂樹	(財)データベース振興センター企画課長

公共料金処理通知システム・ワーキンググループ名簿

内 田 和 義	(財)日本エネルギー経済研究所 エネルギー計量分析センター 主任研究員
黒 田 英 一	(社)日本リサーチ総合研究所開発研究部 研究員
鈴 木 仁	システムズ・アナリスト・ソサエティ 研究員
中 澤 一 男	日本電信電話(株)電話企画本部営業推進部 料金課長
服 部 順 吾	東京ガス(株)営業計画部料金グループ 課長代理
福 江 英 仁	東京電力(株)営業部営業管理課 副長
藤 本 宗 一	日本電信電話(株)産業システム事業部 企画開発担当課長
宮 沢 則 雄	日本放送協会営業本部推進部 副部長
村 瀬 知 良	鹿島建設(株)情報システム部企画課
(リーダー) 小 泉 幸 一	(財)データベース振興センター総務課

公共料金処理通知の共同化に関する調査報告書

目 次

はじめに

公共料金処理通知システム調査研究委員会名簿

公共料金処理通知システム・ワーキンググループ名簿

1. 公共事業体における公共料金処理通知システムの現状	1
(1) 東京電力	1
(2) 東京ガス	1
(3) NHK	2
(4) NTT	2
(5) 総括表	3
2. 公共料金処理通知システム共同化についての問題点	5
(1) 前提条件	5
(2) 問題点	5
イ) 基本的な問題点	5
ロ) 技術的な問題点	6
ハ) その他の問題点	8
3. 共同化モデルと各モデルのメリットおよびデメリット分析	10
(1) 前提条件	10
(2) 想定モデル	10
(3) 各モデル・システムの概要	11
(4) モデル1のデメリット	12
(5) モデル2のデメリット	13
4. 公共料金処理通知に関するユーザー意識調査	14
4-1. 調査の概要	14

4-2 アンケート分析結果	16
(1) 検針員について	16
(2) 口座振替について	16
(3) 領収証について	18
(4) 引落しの一本化について	19
(5) 公共料金に関する意見/要望等	21
(6) アンケート結果のまとめ	21
5. 本調査の結論および将来展望	22

(参考資料)

1. MARRIAGE MAIL について	25
2. 公共料金処理通知状発行状況	26
3. ノーリンク・サービスについて	32
4. ダイレクトマーケティング — 大量郵便料金	35
5. 公共料金処理通知に関するユーザー意識調査分析データ	39

1. 公共事業体における公共料金処理通知システムの現状

公共料金の処理通知の共同化の可能性を探るためには、まず、公共事業体各社の現在の処理通知の状況を把握する必要がある。

本委員会に参加した各事業体の検針方法、口座振替状況、通知方法などは以下のようになっている。

(1) 東京電力

* 毎月検針（約3,500人）を行ない、その指針時に、一枚になっている当月の電気使用量のお知らせと前月の電気料金領収証を投函している。

そのため、利用者への通知コストは、人件費を除くと実質ゼロである。

* 郵便はがきによる利用者への通知は、希望者および指定口座の残高不足により振替ができなかった時である。

検針日より10日目に初回振替（引き落とし率95%）、20日目に再振替（同2.5%）。

* 21日目以降は遅集料金（5%）の割増となる。

* 口座振替利用者数は、管内のユーザー数1,700万件のうち、75%である。

* 参考までに、9電力のユーザー数は4,900万人。

(2) 東京ガス

* 隔月ごとに検針（約1,100人）を行い、その検針時に一枚になっているガス使用量のお知らせとガス料金等口座振替済領収証を投函している。

そのため、利用者への通知コストは、人件費を除くと実質ゼロである。

* 郵便はがきによる利用者への通知は、指定口座の残高不足により振替ができなかった時のみである。

* 回収方法別件数構成は以下のとおり。

口座振替	4,392千件	73.4%
持参払い	1,360千件	22.7%
訪問集金	231千件	3.9%
合計	5,983千件	

(3) N H K

- * 一契約当りの受信料金が一律であるため、電力、ガスのように検針者は、必要ない。
- * 通常、年間を6期に分け、2カ月ごとに徴収している。6カ月あるいは1年分一括払いだと割引もある(一年分一括の場合12分の1割引)。
- * 郵便はがきによる利用者への通知としては、①口座振替による放送受信料領収証と②指定口座の残高不足により振替ができなかった時の放送受信料ご入金のお願ひがある。これらの通知は、すべて渋谷郵便局から発送されており、郵便番号ごとに区分けしているため、10%割引が適用されている。
- * 口座振替利用者は2,000万世帯(全利用世帯3,000万世帯の65%)である。
- * 振替日は、偶数月の26日 引き落とし率96~97%
奇数月の26日 20万件の引き落とし
- * 通知のための郵送費は年間20億円程度。
- * 口座振替以外の利用者のため、集金人が約4,000名いる。

(4) N T T

- * 全国4,500万の利用者への通知は、すべて郵便はがきによって行なわれており、集金はやっていない。
- * 利用者への通知は、まず、前月の利用料金が口座から振替えられたことによる電信電話料金領収証と次回口座振替金額のお知らせと一緒にいるはがきが配達される。つぎに、預金口座が残高不足の場合、預金口座へのお願ひというはがきが郵送される。
- * 利用者への料金の回収についての対応は、すべて各電話局で行っている。
- * 口座振替利用者は78~79%である。
- * 支払期日までの入金率は約90%、支払期日から40日後の入金率は98~99%となっている。
- * 口座振替利用者への年間の郵送費は概算150億円。

(5) 公共料金通知システムの現状 一統括表一

	検針方法	検針員数	検針日	初回振替日	検針日より領収証 発行までの期間	領収証 発行日	ユーザー数	口座振替 利用者(%)	初回振替 引き落とし率	通知コスト (年間)	
										郵便費	人件費
東京電力	検針員	約3,500人	19ブロック 毎に毎月 決められた 日	検針後 10日目	1カ月	翌月の 検針日	1,700万	1,275万 (75%)	95%		約100億円
東京ガス	検針員	約1,100人	19ブロック 毎に隔月 決められた 日	検針後 第8営業日	1カ月	翌月の 検針日	600万	440万 (73%)	96.3%		33億円 (1,100人×300万)
NHK	受信料一律	*集金人 約4,000人	なし	偶数月 26日	—	奇数月 の13日	3,000万	2,000万 (65%)	96~97%	20億円	
NTT	電話局のメ ーター・チ ェック	検針は他の 業務と複合 して行って いるので検 針員の数は 不明	6群の各 最終営業日	検針日から 1カ月後	20日	翌月 振替日 の10日 前	4,500万	3,550万 (79%)	96.2%	150億円 (3,550× 40円× 0.9×12 ヶ月)	

(6) 検討の留意点

以上の現状に基づき、今後の共同化の可能性を探る場合、以下の諸点に留意して検討を進めることになった。

1. 日本の郵便料金は、米国の郵便料金に比べてかなり割高である。
2. 米国には、1通につき5～10件のDMと一緒に同封して、郵便料金を節約するMarriage Mail というシステムがある。
3. このMarriage Mail システムを日本の公共料金の通知システムに導入し、通知コストを削減する等の可能性を検討できないか。
4. ただし、基本的な問題としては、各社の料金通知システムに違いがある。即ち、検針員による通知（東京電力、ガス）と郵便はがきによる通知（NHK、NTT）である。
5. 個人の家庭と法人とでは同一ではない。
6. 検針員を配置している東京電力、ガスの場合には、検針員が消費者の相談窓口にもなっている。100件に数件は相談がある。
7. 検針員をいろいろなPRにも活用している。また face to face の触れ合いも企業活動の一環として大切にしたい。
8. 東京ガスの場合には、法律に基づいて年1回ガス器具の安全な使い方のPRをしている。
9. 振替を一括にした場合、引き落しの優先権やプライバシーの問題がでてくる。
10. 初回の引き落とし率が何れも95～97%と高率で一致している。
11. クレジット会社の場合5%の未回収があれば事業は成立しない。
12. 郵便の場合、転居先不明、表札が無いなどの理由で未着の問題もある。

2. 公共料金処理通知システム共同化についての問題点

各公共システムの処理通知の現状および検討上の留意点をベースに、仮に共同化を実施するとすれば、どんな問題点が考えられるのか。

下記の前提条件のもとに検討した結果、以下のように、多様な問題点がクローズアップしてきた。これらを、(イ)基本的問題 (ロ)技術的問題 (ハ)その他の問題として整理すると次のようになる。

(1) 前提条件

- ① 第1回目の引き落とし通知状(領収証)の合封郵送に限定。
- ② 公共料金関連通知合封郵送を行う第3者機関を設置。
- ③ 第3者機関では、電力会社、ガス会社、NHK、NTT等公共会社から、ユーザーに通知したい内容と通知先に関する情報を受取り、ユーザー毎にまとめて合封郵送。
- ④ 第3者機関では、公共料金請求先ユーザー名簿(データベース)を持つが、公共会社から受取った通知先情報の付け合わせにより、同一ユーザーの認識及び宛て名書きの処理を行う。

(2) 問題点

(イ) 基本的な問題点

- ① 第3者機関設立、運営上の問題点
 - * 第3者機関設立、維持管理、運営にどの位の費用(投資)、人員が必要か。
 - * 組織形態の在り方。
 - * 採算性はどうか。
- ② プライバシーの問題点
 - * 合封システムを運営していく結果として、ユーザーに関する情報交換が各公共会社間でできてしまう。
 - * 通知状の発行のみならず、他の目的(DM等)に利用される可能性がある。
 - * 引き落とし口座が統一された場合、ユーザーのライフスタイルが丸裸にされてしまう可能性がある。
- ③ コスト・シェアリング
 - * 共同化の実施に当っては、公共料金通知システムの現状の総括表(3ページ参照)を参考にコスト・シェアリングを検討する必要がある。

④ Face to Face contact

- * 東京電力、ガスの場合は、検針員を使って、検針、及び領収証の配付を確実に行うのみならず、器具の操作方法の指導、苦情の受付、各種相談サービス等も担当している。
- * 人間を介在させたハイ・タッチなシステムは、今後のマーケティング戦略を考察する上でも1つのキーと成り得るものと思われる。しかしながら、訪問販売の問題も有り、世論のコンセンサスを得たシステムを作るべきである。

⑤ 引き落とし手数料の差異

- * 郵 政 10円/件
- その他 5円/件

(ロ) 技術的な問題点

① 第三者機関による公共会社からの情報の受取方について

- * 宛名、通知内容が記載された帳票ベースなら、各社の独自性(柔軟性)は確保されるが、その場合、ユーザーの認識、仕分等が手作業となるか。
- * MTベースとした場合、通知帳票をユーザー毎に一括出力(印刷)となり、どこまで各社の独自性を確保できるか。
- * 各社の独自性(柔軟性)確保の必要性があるか。

② 同一ユーザーの認識及び宛名書きの処理について

- * 宛名書き処理の自動化のためには、請求先ユーザー名簿のデータベース化が必要。
- * 各社保有ユーザー名簿データベースから編集・作成できるか。
- * 又は、上記ユーザー側メリットの享受を希望するユーザーから申込書の提出を受け、申込書を基に新規にデータベース構築。

③ 通知状発行における日程上の問題点

- * 各公共会社はそれぞれの料金群や発行日程に従い処理しているので、その日程調整が難しい。
- * 特にNTTの場合には引き落とし通知は次料金月の事前案内書も兼用しているため、合封等により日数がとられ、引き落とし日の10日前発行が確保出来なくなる。
- * 行方不明等で不達があった場合、返却された事前案内書が、合封発送会社経由で戻されるので、対策が遅れる可能性がある。
- * 現状より遅れて通知することになればサービスダウンになり、企業の合理化努力、あるいは国民経済的無駄という観点だけでは受け入れられない。

④ 合封郵送する場合のキーコード（名寄せコード）関連

(a) 口座番号とする場合

次の問題があり一括送付の効果が減殺されるとともにユーザーへの通知の扱いが統一できず（個々バラバラとなり）事務が繁雑になる。

- * サービスの契約者と口座の名義人が異なる場合があり、サービス毎に宛先が異なることがある。
- * サービス毎に異なる口座を持っているユーザーには口座を統一して貰わなければ効果が少ない。
- * 各公共会社で料金群が異なるため、1人のユーザーに口座番号を統一してもらったとしても、公共会社サイドの理由により請求が個々になる可能性が大きい。
- * 口座番号が同一であっても領収証の宛先が口座番号の名義人と異なる場合がある。この場合、サービス毎に宛先が異なる可能性が強い。

（注） N T Tの場合：契約者、支払い者（口座の名義人）、領収証の宛先（住所）、使用者は全て別々でも良い。

(b) 電話番号とした場合

次の問題があり一括送付の効果が減殺されるとともにユーザーへの通知の扱いが統一できず（個々バラバラとなり）事務が繁雑になる。

- * 他の各公共会社のサービスと電話番号のリンクが必要であるが、その維持管理が難しい。
- * N T T以外の公共会社に電話番号を教えたくないユーザー（電話番号帳にも載せない人等）にはこの合封ができるか疑問である。
- * 他の各公共会社がN T Tの宛名等のシステムに合わせられるか。（(a)の注）

⑤ 合封、封書方式関連

(a) 合封方式

- * 統一宛名の印刷はどのように行うのか。
- * 合封の機械処理が可能か（技術的、量的）

(b) 封書方式

- * 様式の検討（共通項目、印字必要項目等の各公共会社間の調整）が必要。

⑥ 企業P R、有料広告の取り扱い

- * 現在はがきの裏面を利用しての企業P R（NHK）や、有料広告（N T T）を行っているが、共同化した場合に現状レベルの維持は可能か。

⑦ システムの柔軟性

* 個々の公共会社の要求に対し即時に対応可能か。

⑧ ユーザーの移動情報の把握（引越し等）

* N T Tだけでも年間400万件もの移動があるが、ユーザーの移動情報を確実に把握できるか。

(イ) その他の問題点

① 第1回目だけの振替通知に限定した場合

* 公共料金全体の一覧性という意味では不完全である。

* 2回目以降の振替済分について、通知期限までに間に合うものも通知しないのは不合理である。

② サービスを受ける側のメリット、及びニーズの把握

* 主婦や企業ユーザーを対象とするグループ・インタビュー等の実施

* 一般ユーザー側にとって考えられるメリットとしては、このシステムの導入により、料金が引き下げられるか、プラスアルファのサービスが必要。例えば家計診断サービス、明細情報サービス、引越時における各種通知代行サービス、各種情報提供サービス等。

* 企業ユーザーのメリットとしては、特に全国に支社・支店を持つ大企業向けに、一括請求、引き落としサービスを、オンライン/MT/FD渡し（第3者機関による）で実施等。

③ 領収証郵送の中止

* 何か法的な問題点はあるか。もし可能であれば、料金の値引きはどうか。

④ 検針方法改善による検針員の処遇

* 東京電力、東京ガスの場合、検針員の人件費を除くと料金処理通知コストはそれほど大きくなく、合封によるコスト削減のメリットは少ない。それ故、検針方法の改善（テレメータリング等）を検討する必要がある。なお、検針方法が改善された場合には、検針員の配置転換等の対策が大きな問題となる。

* 検針員の統合（電力、ガス）

⑤ 料金引き落とし処理

* 今回の検討対象外であるが、合封郵送によるコスト削減のメリットが見出せない場合は、ユーザー口座からの料金引き落としの一本化による、金融機関からの引き落とし

手数料の節約の可能性に関する検討も必要。

⑥ モデルシステム構築による検討

- * 通知システム共同化についてより詳しく検討するためにモデルシステム（地域、具体的なシステムの概要、費用等）を考えてみてはどうか。

3. 共同化モデルと各モデルのメリットおよびデメリット

既述の問題点についてより具体的に検討するため、共同化システムのモデルを想定し、各々のメリットおよびデメリットを各公共システム毎に整理することになった。

まず、基本的に各社の現行システムを修正しないことなどを前提に、①初回振替え通知状を合封郵送するシステムと②郵送せずに検針員が通知状を置いてくるシステムの二種を想定した。

この結果、以下に示すように、現状においては、各システムともメリットはほとんどなく、デメリットの方が圧倒的に多いことが判明した。

(1) 前提条件

- ① ニーズ，目的を明確にする必要あり。
検針を行っている会社と行っていない会社とでは大きく異なる
(4社のうち2社はかなりメリットがある。)
- ② 原則として，現状における各社のシステムは変更しない。
ただし，目的達成の為，必要最低限の修正を行うことはある。
- ③ ユーザーの了解を得られた人のみを対象とする。
- ④ 第3者機関を設立してもよい。
- ⑤ 初回振替通知状(領収証)の合封郵送に限定。
- ⑥ 地域は現状のまま。

(2) 考えられるモデル

モデル1. 電力・ガスの検針員はそのまま残し，初回振替通知状(領収証)を合封郵送する。

モデル2. 検針員，集金員を結集して，振替通知状(領収証)を合封郵送しない。

(3) 各モデル・システムの概要

システムの概要図	業務内容	所要 日数	問題点等
<p>合封システムの会社</p>	<ul style="list-style-type: none"> 各社希望者等の更新 希望、非希望振り分け 送付 日程 A社 - 19群 1日～2日単位 D社 - 6群 5日単位 キーワードに基づきソート ・マージする。 日程のあうもの、送付条件の合うものについて各社のデータを組み合わせる。 送付条件情報の管理 条件不一致のものを抽出し各社に返還 郵便番号ごとにソートする 印刷 発送処理 各社に回送 宛名の確認等 	<p>1群 当り</p> <p>1日 ない し</p> <p>2日</p> <p>↑</p> <p>2日 ない し</p> <p>3日</p> <p>↓</p> <p>↑</p> <p>2日</p> <p>↓</p> <p>4日</p> <p>1日 ない し</p> <p>2日</p>	<ul style="list-style-type: none"> 次の項目について管理が大変 希望、非希望宛名等の相違 名義人の相違 支払い者の相違 また、各社がこの情報をどのように把握するか。 インターフェイスの媒体は何にすべきか 各社の日程調整が大変 どの程度寄せることができるか キーワードを何にするか 合封のための経費がどのくらい必要か 統一の宛名は 同一名義人でも異群ではバラバラ 合計7日かかる と問題がある。 返戻された通知書の措置 NTTの発行要員の削減に寄与できるか

(4) モデル1における各社が抱える問題点，デメリット

モデル 1 (初回振替通知を合封郵送する)	
東京電力	<ul style="list-style-type: none"> ・郵便料金のコストアップ。 ・領収書の通知が遅れる場合がある。 ・再振替は従来通りの処理を行う為処理が2重化する。
東京ガス	<ul style="list-style-type: none"> ・郵便料金等のコストアップ。 ・領収書の通知が遅れる。 ・計算月の場合，当月使用量の通知が遅れる。 (一般ガス供給規定に抵触する) *N月(計算月)に配付している領収書(N-1月分)にて N月分の計算使用量の通知を行っている。 ・合封作業(第3者機関)が一時に集中し，ピーク，オフピークの差が著しい。
N H K	<ul style="list-style-type: none"> ・一括通知から分割・順次通知になり，相当数が現在よりも大幅な送達遅延となる。現在でもある遅いとの苦情を増大させることになる。 ・了解がえられた人のみを対象にすることは，ユーザーの意志を尊重する処理ではあるが，実務としては繁雑であり，移動時に正確を期しがたい。また，移行時の意向把握の負担が大きい。
N T T	<ul style="list-style-type: none"> ・合封のキーコード等技術上の問題点が大きい。 ・希望者の維持管理が大変な稼働となる。 ・各社のシステムを変更しないため，合封できる数が大幅に減少する。 (日程調整) ・処理日程が遅れる。 ・ペイするか問題(合封システムにどのくらい経費がかかるか)。
解 決 策	<ul style="list-style-type: none"> ・各社のブロック編成の再編など大幅なシステム変更が一度必要とされる。このことにより，消費者は現在の払込日に変更される可能性が大きく，社会的コンセプトを取る必要が有る。

(5) モデル2におけるデメリット

		モデル 2 (検針員, 集金員を結集して, 郵送しない)
東京電力		<ul style="list-style-type: none"> ・地域割, 検針タイミングの統一を図らないとこのシステムの目的は達成できない。 ・お客さまとの接点が第3者機関に集中し, 当社とお客さまとのコミュニケーションの機会が少なくなる。 ・企業方針, 制度, 教育等の徹底が図りにくい。 ・他業務等の作業, および情報の連携がとりにくい。 ・検針員と集金員とは業務の性格が異なるため, 同一人による実施は困難であり, トータルの要員削減効果がそれ程期待できない。 ・情報ネットワークを新たに構築するか大幅な修正が必要になる。
東京ガス		<ul style="list-style-type: none"> ・地域割, 検針タイミングの統一を図らないとこのシステムの目的は達成できない。 ・お客さまとの接点が第3者機関に集中し, 当社とお客さまとのコミュニケーションの機会が少なくなる。 ・企業方針, 制度, 教育等の徹底が図りにくい。 ・当社の他業務(回栓, 閉栓, 保安, 修理)等の作業, および情報の連携がとりにくい。 ＊不払いによる供給停止-入金による再開 ＊当社窓口あるいは金融機関入金分-訪問督促分との重複入金 ＊その他 ・検針員と集金員とは業務の性格が異なるため, 同一人による実施は困難であり, トータルの要員削減効果がそれ程期待できない。 ・情報ネットワークを新たに構築するか大幅な修正が必要になる。
N H K		<ul style="list-style-type: none"> ・振替通知の共同化というテーマとは, 別次元の検討課題である。
N T T		<ul style="list-style-type: none"> ・モデル1のデメリットに加え ・人件費の増加 ・要員の確保が問題となる。 ・N T Tとしては実施が不可能な案である。
解 決 策		<ul style="list-style-type: none"> ・各社のブロック編成の再編など大幅なシステム変更が一度必要とされる。このことにより, 消費者は現在の払込日に変更される可能性が大きく, 社会的コンセプトを取る必要が有る。

4. 公共料金処理通知に関する需要者の意識調査

4.1 調査の概要

(1) 調査の目的

わが国における電力、ガス、NHK、NTT、水道等、公共料金の処理通知に関し、検針員、口座振替、家計簿との関連、引落としの一本化等について、ユーザーである一般消費者の問題意識を整理することにある。

(2) 調査時期

1986年11月

(3) 調査対象

東京ガスの営業区域内に居住する女性350名。

(4) 調査方法

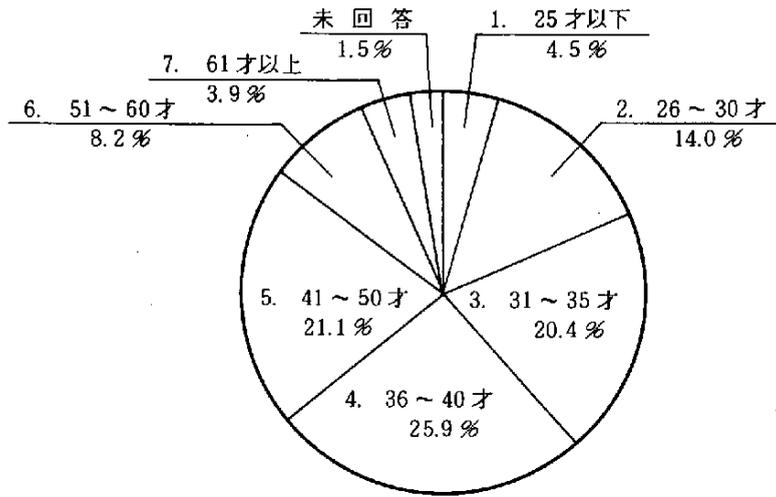
訪問留め置き

(5) 回答数

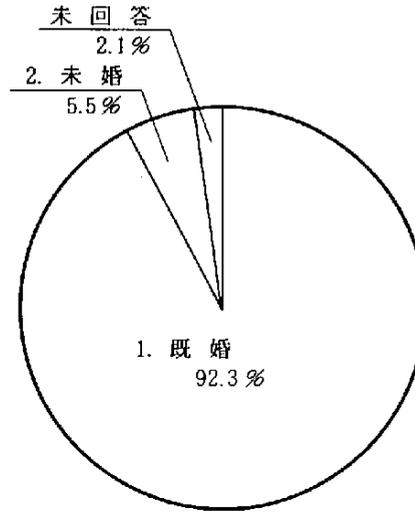
327名（回収率93.4%）：回答者の属性を15頁に示す。

回答者の属性

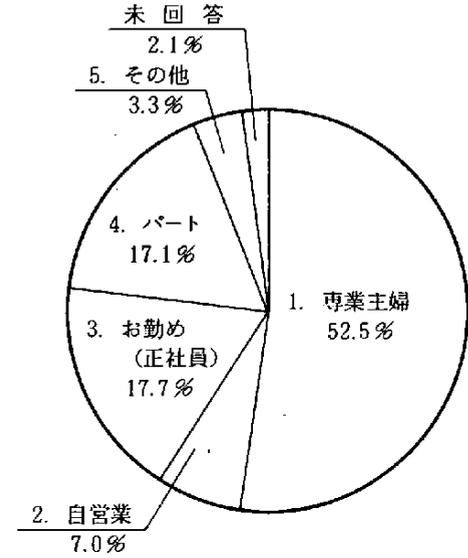
(1) 年齢



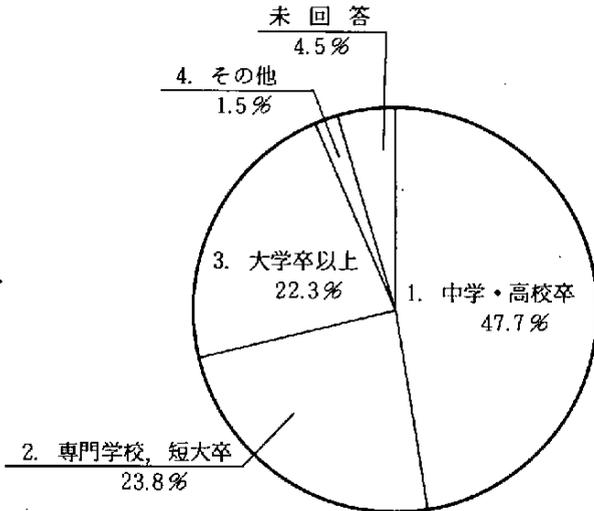
(2) ご結婚



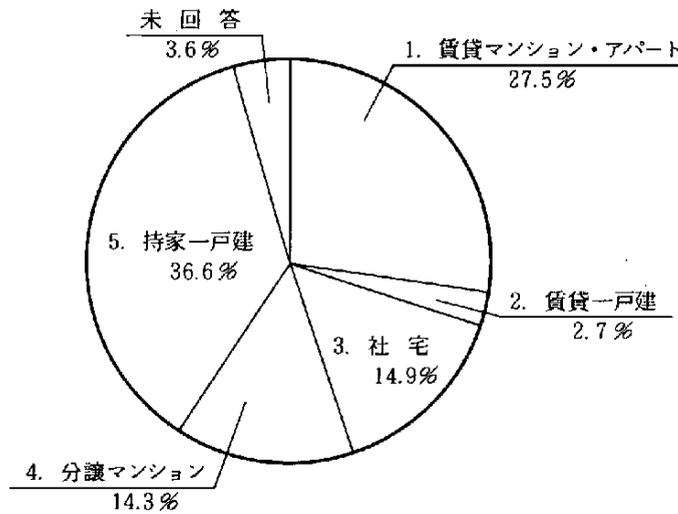
(3) ご職業



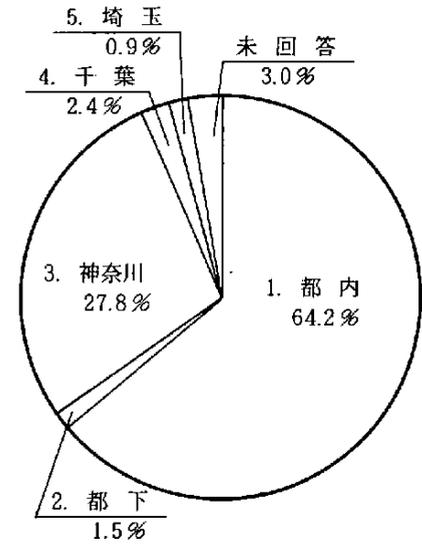
(4) 学歴



(5) お住い



(6) ご住所



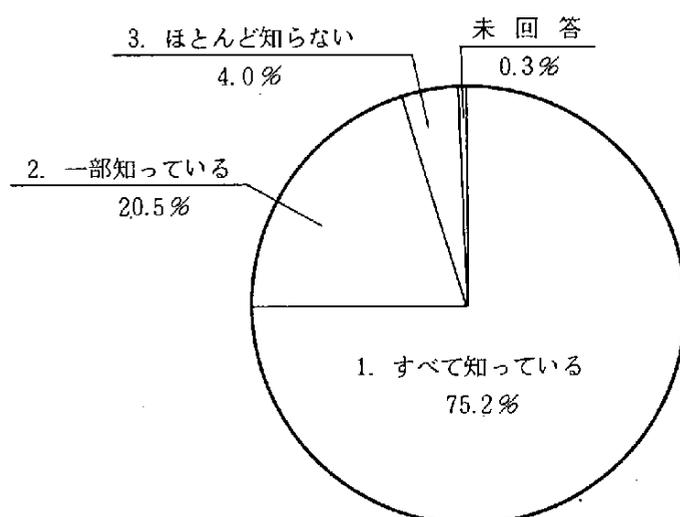
4.2 アンケート分析結果

(1) 検針員について

- ① 検針員が家庭を個別に訪問して検針していることに関しては、知っている内容に差はあれ、合計して96%の回答者が知っていると回答している（図1参照）。検針員についての認知は高いといえる。

なお、知らないと回答した者に未婚女性が多い。専業主婦などの既婚者と違い、家庭にいたる時間が少なかったり、また、家庭外での生活に力点をおいていることなどの生活パターンの違いがこうした結果をもたらしたのであろう。

図1 あなたは、電気、ガス、水道について検針員が個別に訪問して検針しているのをご存じですか。（ひとつだけ）



- ② 検針員との会話は64%の人が行った事が無く、また35%の人が会話している。その内容は、ほとんどが挨拶程度であり、ごくまれに使用量の問い合わせを行っているに過ぎない。住居的にも当然の事ながら、アパート、マンションに住む人は会話のチャンスが無く、74%の人が挨拶すら行った事が無い。

(2) 口座振替について

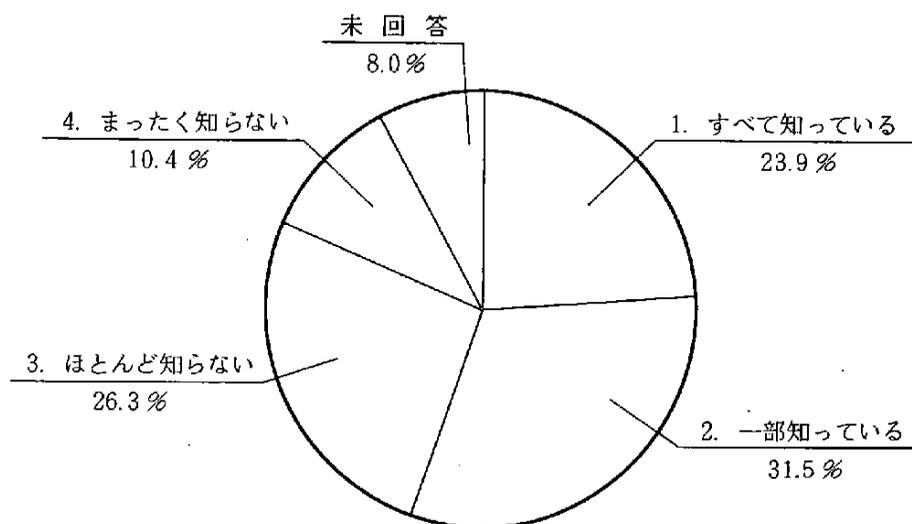
- ① 口座振替の利用は平均して78.2%の人が利用しているが、毎月請求を行わない水道（79.2%）、NHK（63.6%）に利用率の低さが出ている。電話（84.1%）、電気（83.2%）、ガス（81.0%）については、口座振替の利用に関して3%程度の差が生じているが、これは各会社からのアプローチ（口座振替ご利用のすすめ）度合と利用者側の都合（例えば買い物時の駐車場として銀行を利用する）などに依るものと思われる。

また、属性別に見ると30-60才迄の主婦層の利用率が高く（約84%）、逆に25才以下の未婚者（約60%）と61才以上の高齢者（69%）が低い。これは、未婚女性の場合は「転居時の手続きがめんどろ」；高齢者の場合は「銀行の利用に不慣れ」などが主な理由と思われる。

また、自営業の人も商売から銀行に行くチャンスが多いのか口座振替の利用は67%に溜まっている。

- ② 口座振替を利用している人のうち、口座振替日を全て、もしくは1部知っている人は55.4%（図2参照）で2人に1人の割合で知っていると回答している。口座振替日については、多くの人に知られていると言える。

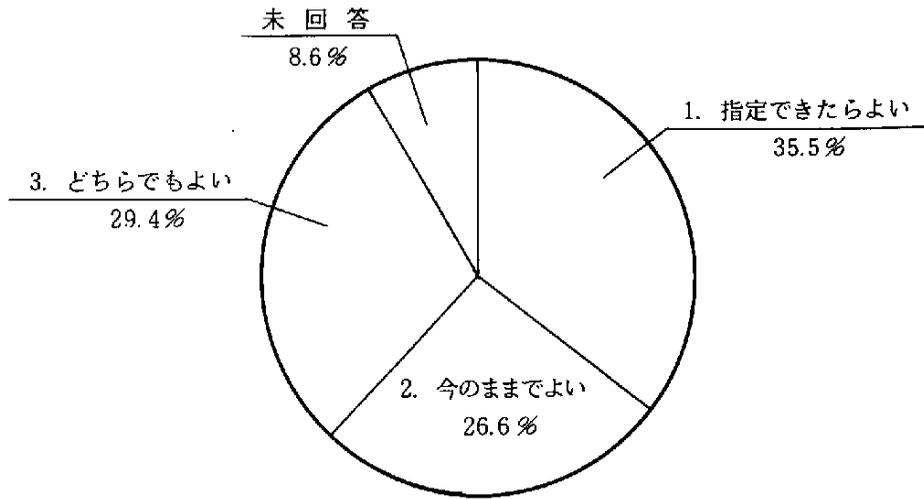
図2 あなたは、口座からの引落日をご存じですか。（ひとつだけ）



ところで、口座振替日を知っているとはいっても、引落とし前に口座の残高を確認している人は38.8%と4割未満である。多くは、引落としの前に残高を確認せずにいる。どうやら、公共料金の支払金額は毎月ほぼ決まっておろ、振替口座にも毎月ある程度は残金があり、特に確認する必要はないと感じているのが回答者の一般的な姿であると言えそうだ。

こうした口座振替日の定着化と、公共料金のルーチン化によって、口座振替日の指定についての希望者は35.5%（図3参照）と低い結果が出ている。多くは今のままで良い、どちらでも良いという消極的な姿勢である。

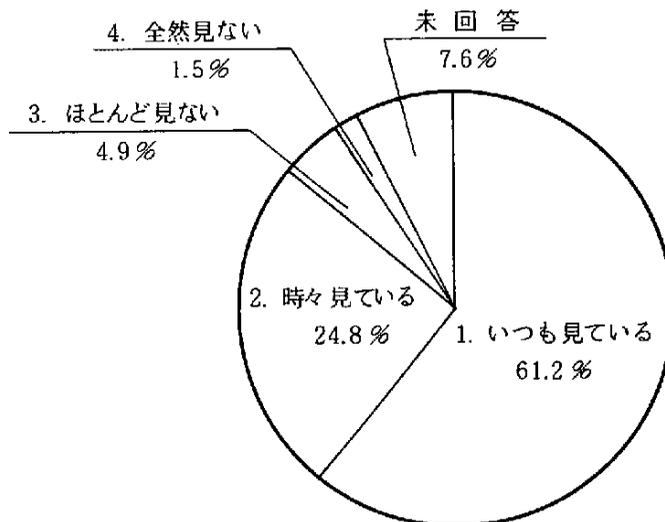
図3 あなたは引落日を給料日の翌日などと指定できたらよいと思いますか。
(ひとつだけ)



(3) 領収証について

- ① 領収証に関しては、86% (図4参照) がいつも、もしくはときどき見ていると回答しており、領収証の認知度は高いと言えそうだ。しかしながら、ほとんど見ない、あるいは全然見ない人も6.4%いる。少数ではあるが注目される。

図4 領収証の内容をご覧になっていますか。(ひとつだけ)



- ② ところで、多くの人々が領収証を見ているとはいっても領収証は必要と考えているのだろうか。調査結果から見る限りでは93.2%のほとんどの人が必要ありと回答している。

領収証については、必要性も高く、見る人も多いといえる。

なお、不必要と答えた人も6.7%と少なからずおり、その理由としては、「銀行の通帳に記載されているので、領収証が有っても見ないから」、あるいは「整理が大変」などをあげている。

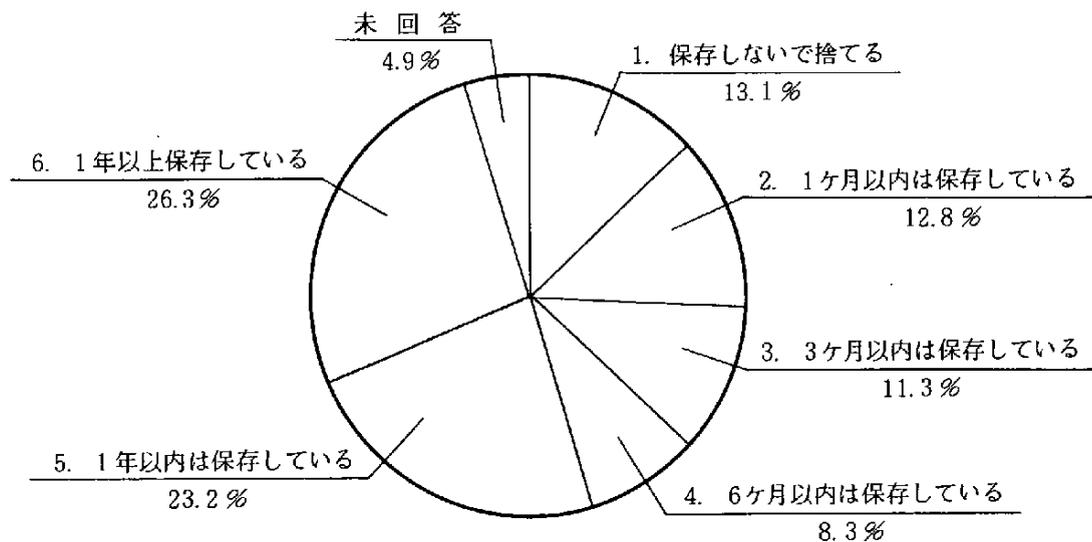
③ 領収証の内容に関して問い合わせたことがある人は、11.9%であり、その具体的内容をみると「いつもと比べて使用料が異常に高い」などが多い。公共料金に対する利用者のシビアな一面がうかがわれる。

④ 領収証の保存に関しては6ヶ月以内が32.4%、約1年が49.5%、合計81.7%（図5参照）の人が長期に保存しているが、家計簿等への記入は約27%である。

また、家計簿へ記入している人のほとんどが前月との比較を行っており、中には前年同月との比較を行っている人（10%）もいる。この傾向は高学歴になる程強く表れている（19.2%）。

しかしながら、一方では領収証は保存しないで捨てる（17.8%）など、生活及び意識の多様化がうかがえる。

図5 あなたは領収証を保存されていますか。

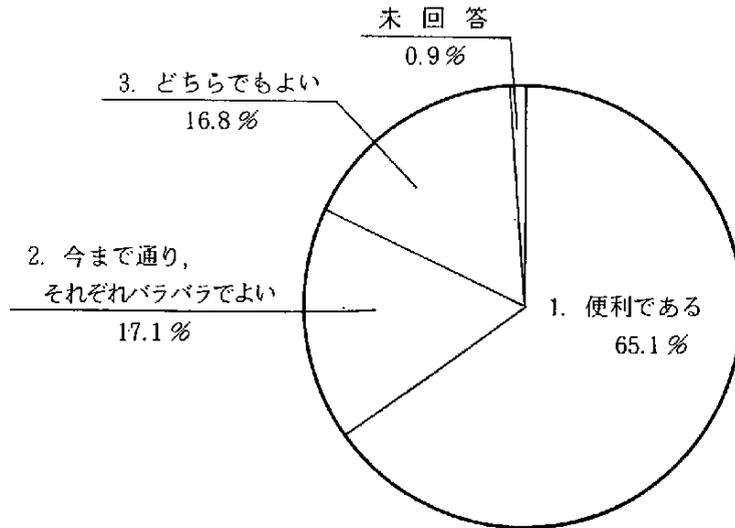


(4) 引落としの一本化について

① 領収証の一本化に関しては65.1%（図6参照）の人が便利さを感じ、どちらでも良い（16.8%）と合わせると81.9%の人に受け入れられ賛同を得ている。逆に17.1%の人がバラバラで良いと答えているが、これは今回の企画に対し、消費者メリットが充分説明

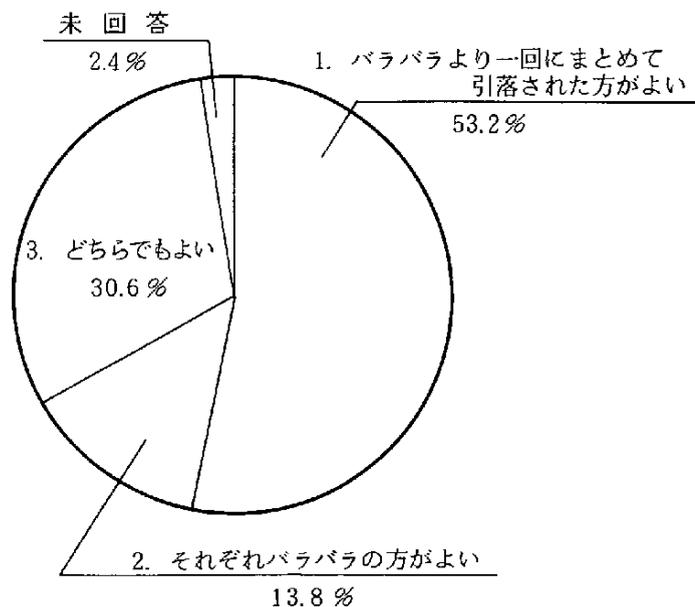
されていない為であり、説明があれば100%近い賛成が有ったものと思われる。特に50才以上の方は理解出来なかった様子であり（約60%が賛成）、学歴的にも高学歴になる程（大学卒で90%が賛成）賛同率が高い。

図6 領収書について。これまで各社から個別に来ていた領収証が、仮に一枚の用紙（内容は個別に表示）に記入されて送られるすると、あなたはどのように思われますか。（ひとつだけ）



② 口座振替の一本化に関しても、同様に受け入れられる人が83.8%（図7参照）、今までどうりバラバラが良いと答えた人が13.8%であり、領収証の一本化と同じ様な傾向にあ

図7 引落しについて。これまで各社別々の日に引落されていたのを同じ日にまとめて引落すようになった場合、あなたはどう思われますか。（ひとつだけ）



る。これも領収証の一本化と同様に理解不足が一部では考えられるが、その他に自営業の30.4%、25才以下の26.7%などがバラバラを希望しており、事業・家計のやりくりなどの理由が主と思われる。

(5) 公共料金に関する意見、要望等

- ① 最期に公共料金に関する意見、要望では多くが「円高差益還元による料金引き下げ」を望んでいる。一昨年秋より急ピッチで進んだ1ドル150-160円の円高については、消費者も意識しており、公共料金についても引き下げを望むなどシビアに考えているようである。
- ② 料金引き下げの他には、「計算の仕方がわかりにくい」、「使用した月と請求する月のずれがありすぎる」、「領収証に新製品紹介などの情報を盛り込む」などの声が聞かれた。

(6) アンケート結果のまとめ

- ① アンケート調査の結果によれば、公共料金の共同処理通知は8割以上の賛同がある。これは
 1. 「国民経済的ムダをなくし、公共料金の値上げ抑制につながる」
 2. 「一本化されていると整理がしやすい」などが、アンケート後のグループインタビューでもでている通り、主な理由と思われる。
- ② 共同処理通知の様式及び内容に関しては、ファイリングなど整理しやすい様式を使い、内容には前月対比を出すなど利用者サービスを考慮する事も必要である。
- ③ 共同口座振替も同様であるが、振替日などは無理に利用者側に合わせる必要もなく、会社側の都合(システムの都合)に合わせる事が可能といえる。
- ④ しかしながら、もし共同処理通知、共同口座振替の制度を導入するならば、この制度の利用を希望するか否かの選択可能な制度とする必要が有る。
- ⑤ 検針員の役割に関しては、一部で「FACE TO FACEによるきめ細かいユーザーへの対応」などと言われたが、実態的には検針員と会話するチャンスは少なく、また、最近の家屋ではメータ類が表通りから見ることのできるシステムセットを装備するなど、ますます会話チャンスはなくなってきている。また、利用者側から見ると、各コンサルタントは検針員が兼ねるのではなく、コンサルタントの専門家の方が信頼度が高く、この人達から安全面を重視して、各器具をセールスされれば買う時も安心であるといえる。

5. 本調査の結論および将来展望

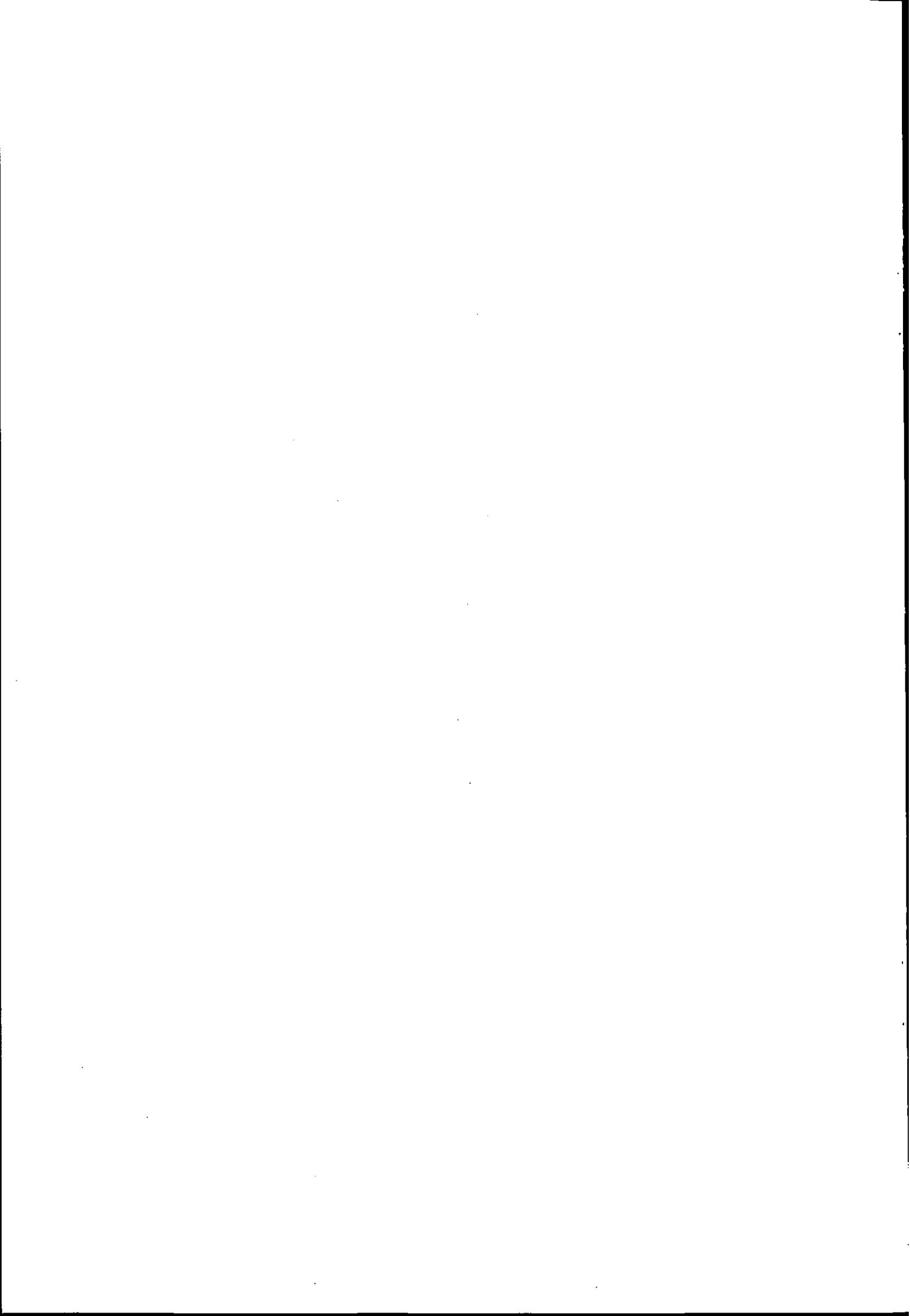
以上、共同化について、現状確認、問題点の洗い出し及びモデルを想定して検討を行なったが、各システムの現状を変更しないという前提条件の下では、共同化は困難であると考えられる。

しかしながら、需要者へのアンケート調査結果の分析にみられるように、①国民経済的無駄をなくすると共に②一本化されていると整理しやすい、という点から、共同化に賛同する声が高い。

今回の検討は、現行システムを修正しないという前提で進めたが、将来、テレメータリングあるいはノーリンク・サービスが広く一般家庭に普及するようになれば、共同化について再検討する余地は十二分にある。

従って、現状においては困難との結論になったが、今後とも、共同化の可能性については引き続き検討すべきであろう。

参 考 资 料



1. MARRIAGE MAIL とは

Shared mail とは、一緒に同封された2つ以上の広告を一つの郵便物として郵送するシステムのことである。Marriage Mail とは、Advo-System社が自社の Shared mail に付けたトレードマークであり、Network Mail とは、Advo社の全国的に毎月郵送する Shared Mail システムのトレードマークである。

この MARRIAGE MAIL は、Advo社の8,600万世帯の顧客データベースを基に、異なるメーカーや小売店の印刷された宣伝・広告資料を一つの第3種郵便として一つにまとめて消費者に送るシステムである。MARRIAGE MAIL は、選定された地域に、新聞の織り込み広告よりもより正確な到達範囲をユーザーに提供するものである。最近、MARRIAGE MAIL を試験的に導入した小売店は、シアーズ、Kマート等があり、モントゴメリーウォードは、MARRIAGE MAIL の利用に関してリーダーであり、現在すべてのテスト・マーケットに利用しており、1982年の末までには40-50の小規模店舗に導入する計画がある。

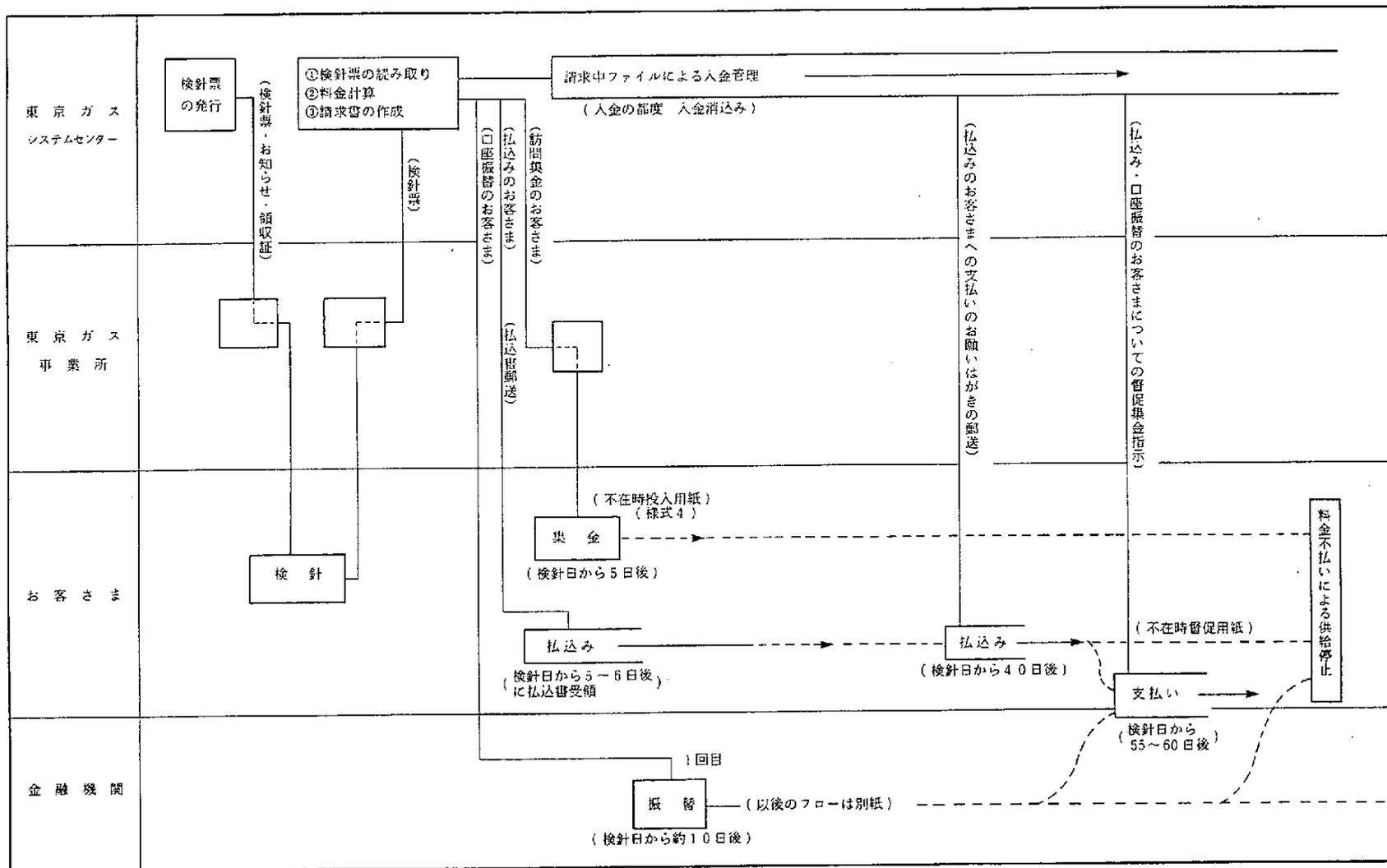
2. 公共料金処理通知状発行状況

	N			N + 1			N + 2			N + 3	
東京電力 第1群	01 ▽ 検針	11 ▽ 振替	15 ▽ 引落とし結果								
第19群			25 ▽ 検針	04 ▽ 振替	08 ▽ 引落とし結果	▼ 領収証郵送 可能日					
東京ガス 第1群	01 ▽ 検針	11 ▽ 振替	15 ▽ 引落とし結果	01 ▽ 計算	10 ▽ 振替	14 ▽ 引落とし結果					
第19群			27 ▽ 検針	07 ▽ 振替	11 ▽ 引落とし結果	▼ 領収証郵送 可能日	27 ▽ 計算	05 ▽ 振替	10 ▽ 引落とし結果		
N H K			26 ▽ 振替		13 ▼ 領収証郵送			26 ▽ 振替		13 ▼ 領収証郵送	
N T T A群		20 ▽ 締め		10 ▼ 領収証郵送 (N-1月分)	20 ▽ 振替 締め		10 ▼ 領収証郵送 (N月分)	20 ▽ 振替			
B			25 ▽		15 ▼		25 ▽				
C			30 ▽		20 ▼		30 ▽				
D			05 ▽		25 ▼		05 ▽				
E				10 ▽		30 ▼		10 ▽			
F群					15 ▽ 締め		05 ▼ 領収証郵送	15 ▽ 振替		05 ▼ 領収証郵送	15 ▽ 振替

東京電力
口座振替の日程表

26	27	28	29	30	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月
							。領収証作成 。料金計算			。集金日 。補正処理			。請求データ渡し 。請求データ作成			。初回振替日					。振替結果受取り						。再振替日

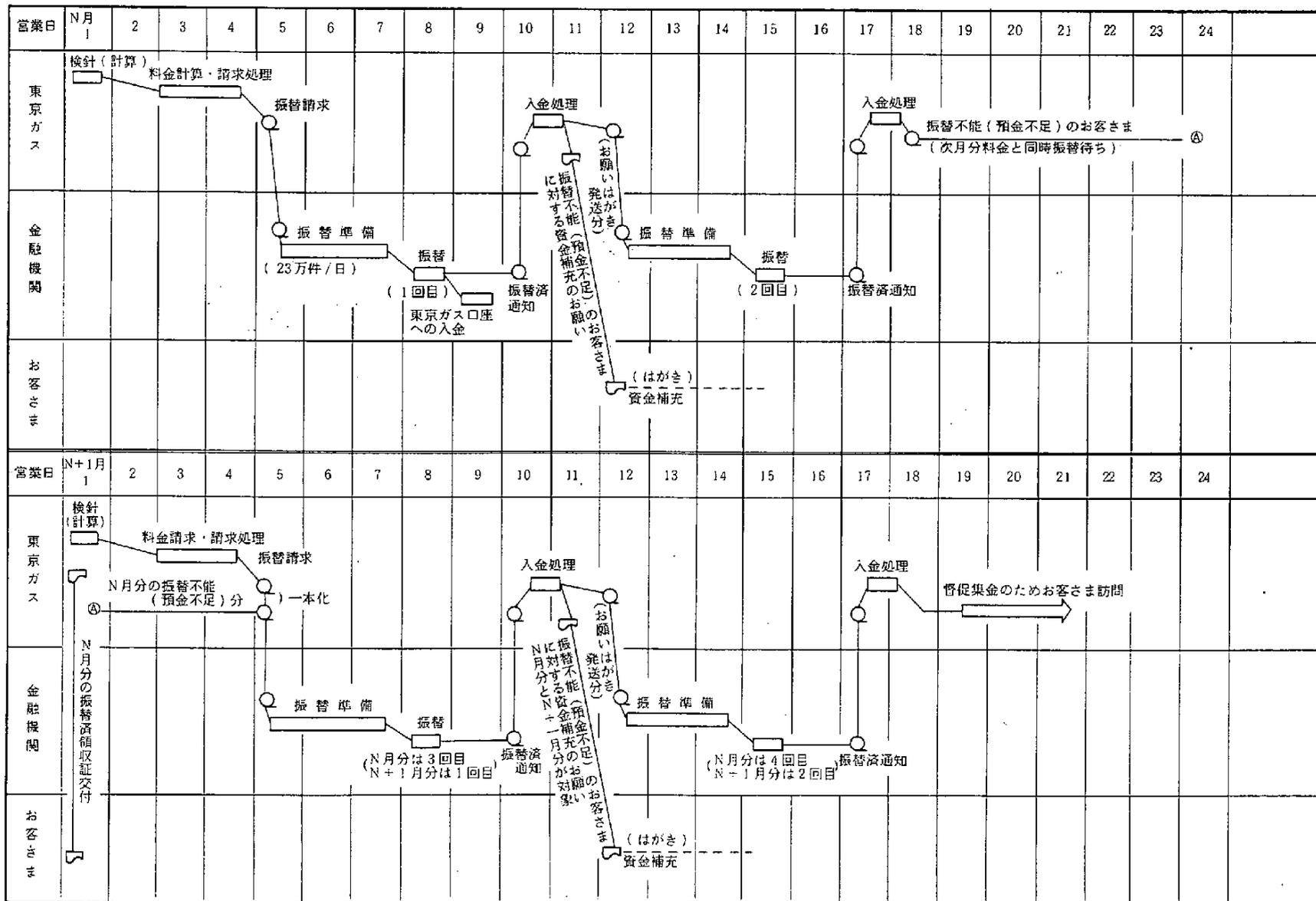
東京ガス 料金関係業務の概要 料金関係業務フロー



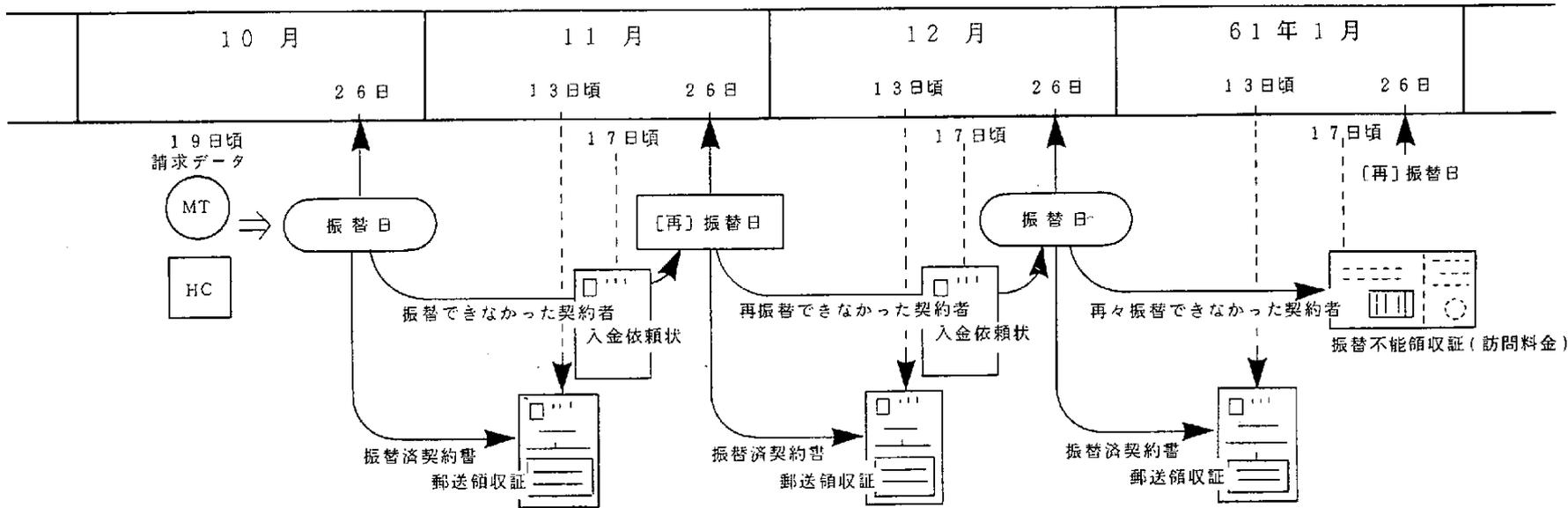
磁気テープ交換方式による口座振替標準処理日程

別紙

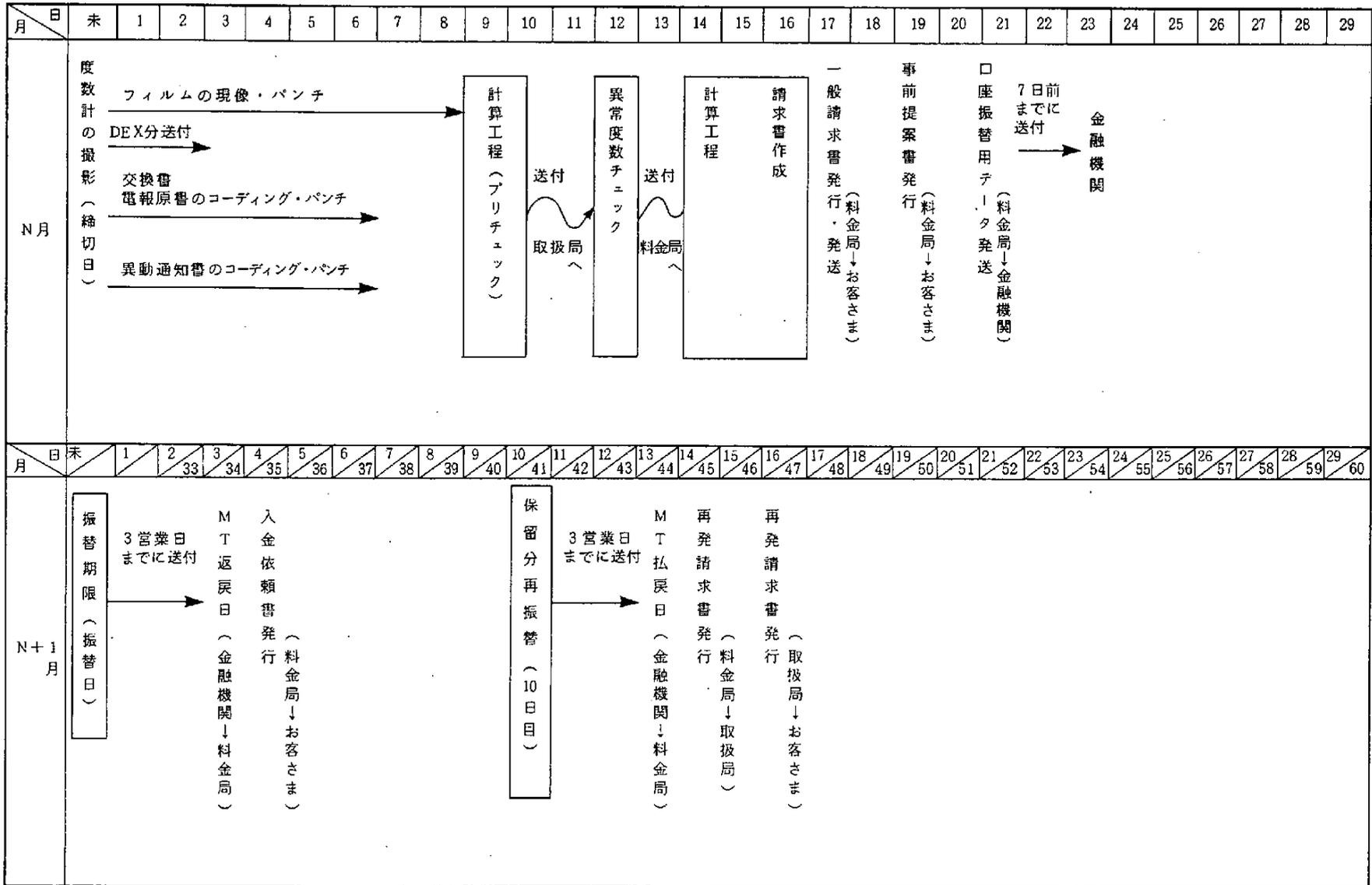
(第1営業日検針分の処理例)



NHK受信料 振替処理説明図



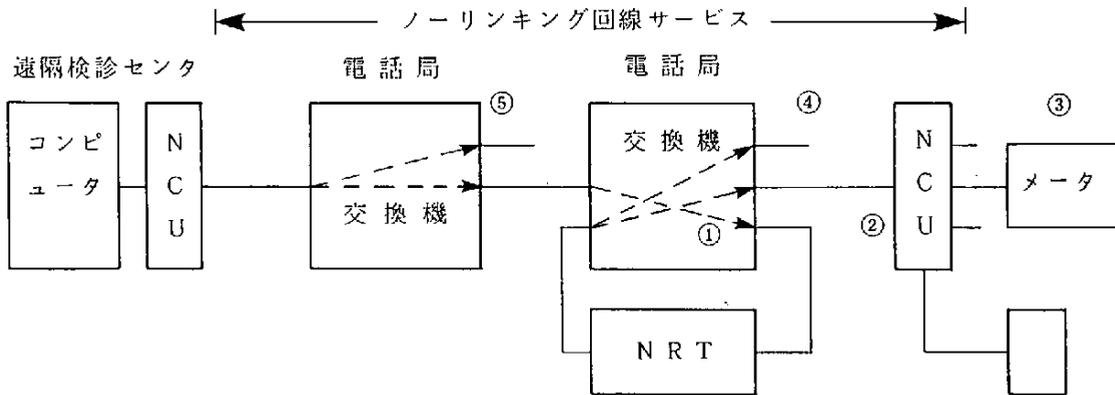
N T T 請求書発行及び回収スケジュール (標準線表)
C群 (月末締切) の例



3. ノーリングサービスについて

1. ノーリング回線サービスの概要

- ・遠隔検針センタと各家庭のメータを、既設の電話回線を利用し、電話機のベルを鳴らすことなく自動的に接続、遠隔検針するための回線サービス。



注(1) NCU：網制御装置

(2) NRT：ノーリング回線用トランク

(3) 動作手順

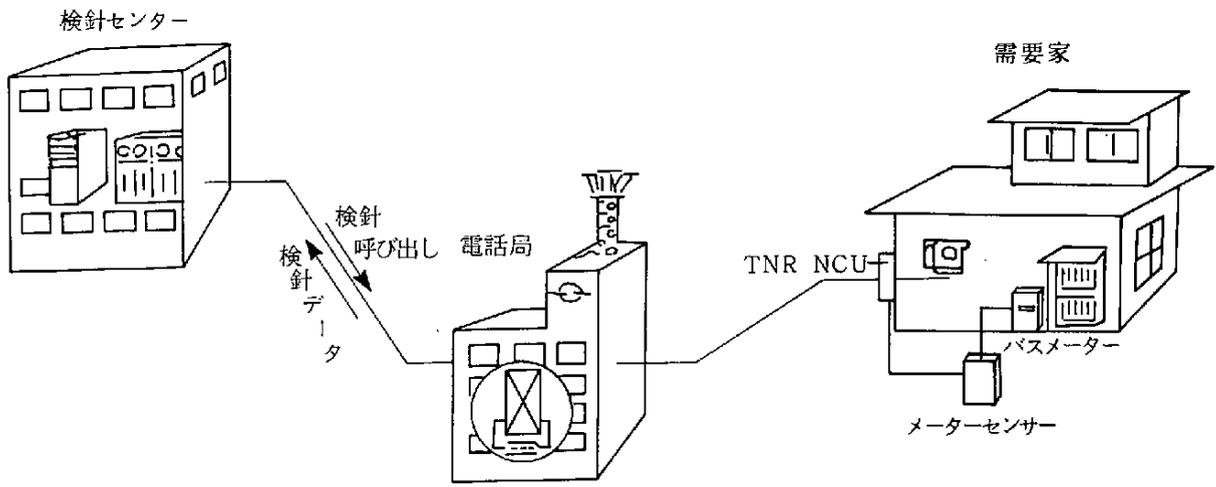
- ① コンピュータの要求に従って、センタNCUと著信側電話局NRTを接続。
- ② NRTより家庭のNCUをノーリングで呼び出す。
- ③ メータより検針情報をセンタに転送する。(200 b/s)
- ④ 同一電話局に収容されている他のメータ/NCUに対して②③実行。
- ⑤ 他の電話局のNRTに対して、①②③④実行。

2. 料金等

- ・端末側NCU使用料：250円/ポート，最大4ポート/NCU
- ・通信料：電話通話料相当(センタ側課金)

3. 主なユーザ

- ・東京都水道局：NCU数700弱
(主な業務)
 - ・定期検針，随時検針(定期検針値異常時の再検針等)，負荷調査等
- ・プロパンガス会社システム
- ・中部電力
- ・東京ガス



4. ダイレクトマーケティング — 大量郵便料金 (和訳)

在日米国商工会議所

伝統的な日本の物流システムの複雑性とそれにかかる出費は、日本企業にとっても外国企業にとっても長い間、特に新しく市場へ参入する事業に対し、さまたげとなって来た。ACCJは、ダイレクトマーケティングがこれらの企業に対しユニークな物流の機会を与えると信じるし、また日本に於いて、大量郵便料金を確立することは、日本政府のかかげる輸入促進や内需拡大、対米貿易不均衡の是正に大いに貢献しうると確信する。

背 景

日本企業及び外国企業の新規市場参入事業が直面する大きな問題のひとつは、生産者或は輸入業者と消費者との間に横たわる複雑な物流システムをいかにうまく乗越えるかにある。この複雑性は事実上、日本市場に参入する米国企業に対して制限を加えて来た。主として参入に際し多大な努力を払うことの出来る大企業のみが参入しえた。ユニークな商品やサービスをもつ中小のアメリカ企業は、事実上日本の消費者へのこれらの商品やサービスの提供を阻まれてきた。ダイレクトマーケティングはこのような企業に経済的手段を与えることができる。日本では、主に商業用大量郵便料金が設定されていないという理由で、この機会は与えられていないことになる。このような商業用大量郵便料金がないということは、大企業に対してでさえ、ダイレクトマーケティングの活用を禁じていることになる。例えば、日本の商業用でない郵便料金は、米国と比較すると約2.5倍も高いのである。

見 解

在日米国商工会議所は、商業用大量郵便料金の確立は、日本のかかげる外国製品及びサービスを日本市場に完全に開放するという誠意の表われとなることを確信する。ダイレクトマーケティング事業は、日本ではまだ未開であるが、米国では既に専門的な技術まで開発されている。ダイレクトマーケティング事業の開発は、日本市場への参入を求める米国企業を援助するだけでなく、商品やサービスを現在消費者に提供する活路を見い出せずにいる日本の企業に対しても利益をもたらすことになる。更に、商業用大量郵便料金の確立は、日本の郵便事業の収入増に大きく貢献するし、その施設及び人材の有効活用を可能にする。日本政府は、ダイレクトマーケティングを現状の物流システムに付加される有効な物流システムであると確認し、それは新規市場参入事業だけでなく、内需をも刺激するものであることを確認すべきである。

行 動

在日米国商工会議所は、日本政府に対し日本国内におけるダイレクトマーケティング事業を育て、日本政府の目指す内需を刺激するという目的に合致する役割を果たす商業用大量郵便料金を確立することを強く訴える。

1986年 6月30日

1986年 7月 2日 渉外政策委員会承認

1986年 7月 9日 執行委員会承認

1986年 7月19日 理事会承認

主要国に於ける郵便及びバルクメーリング制度比較表

60.4.15

郵便問題合同委員会

(本資料に於て使用した為替レートは：米ドル250円、英鎊322円、ドイツマルク83円、フランスフラン27円、豪ドル170円である)

	フ ラ ン ス	英 国	豪 州
1. バルクメーリングの条件	(1) 広告郵便物で1日当り5万通以上。年間3百万通 (2) 35グラム迄 (3) 90×140及び120×235 (4) 区分：700 (5) 見本認可	(1) 1回当り5千通以上 (2) 7営業日の配達 (3) 区分：170～1,800(による)	(1) 広告郵便及び商品見本 (2) 50グラム迄 (3) 50通以上
2. 料金(円)	バルク 一般 運配 20グラム ¥25.40 56.70 45.90 20～50 29.40 81.-- 64.80 50～75 39.70 75～100 48.-- 100～150 63.70 150～200 79.-- 200～250 95.50	バルク ファースト セカンド ¥35.58～29.30 54.74 41.86 (区分による) バルクには更に初年度に対し次年度が102%以上の場合は、1%増毎に全料金の2%をリベートする。但しリベート最高20%迄。	バルク 通常 非通常 ¥15.90 56.10 76.50 ↓ ¥35.34 (年間¥85百万以上) ↓ ¥33.50 (年間¥225百万以上) バルクには更に区分により追加して10%～40%の区分割引あり
3. 郵便量(百万通)	'79 '80 '81 '82 '83 一般 4,398 4,570 4,542 4,411 4,386 運配 2,195 2,162 2,351 2,888 2,697 (17%) (17%) (17%) (17.5%) (18.3%) バルク 1,351 1,378 1,401 1,553 1,603 計 7,944 8,110 8,294 8,852 8,686	'80 '81 '82 '83 '84 ファースト 3,936 4,139 4,105 4,257 4,398 セカンド 4,538 4,230 4,309 4,421 4,632 (11.8%) (11.2%) (11.3%) (11.3%) (11.4%) バルク 1,135 1,058 1,077 1,105 1,158 計 9,609 9,427 9,491 9,783 10,188	'80 '81 '82 '83 '84 通常 2,224 2,325 2,430 2,506 2,588 非通常 373 404 406 398 408 小包 26 29 31 32 32 留置 7 7 7 7 7 計 2,630 2,765 2,874 2,943 3,035
4. 郵便事業収支(億円)	全般的に収益が上がっている	'80 '81 '82 '83 '84 収入増幹 3,101 3,922 4,524 4,965 5,249 小包 566 679 773 886 966 収入計 3,667 4,601 5,297 5,851 6,215 増幹 54 60 180 254 163 小包 4 -17 23 43 62 利益計 58 43 203 297 225	'80 '81 '82 '83 '84 収入 1,171 1,326 1,508 1,698 1,777 支出 1,153 1,350 1,540 1,683 1,821 利益 17 -24 -32 15 56
5. 郵便組織	局数 17,020 集配人 314,451 集配人給料 ¥1,486,500.- (年)	局数 1,559 (集中) + 20,499 (郵便局) 集配人 175,402 + 20,499 (補助) 集配人給料 ¥2,511,600.- (年)	局数 1,790 + 175 エージェンシー 集配人 32,953 + 2,700 (臨時) 契約者 3,700 + 4,708 (補助) 集配人給料 ¥2,298,000.- (年)
6. 小売/通販(億円)	'79 '80 '81 '82 '83 '84 全小売 -- -- -- -- -- 通販 4,023 4,590 5,427 6,318 6,885 7,663 % -- 22.4% 23.3% 24.3% 24.6% 24.9%	'80 '81 '82 '83 '84 全広告 837 963 1,095 9,628 1,059 DM比 9.2% 9.6% 9.8% 7.7% 7.7% DM数 10 10 11 10 11 (億)	'80 '81 '82 '83 '84 全小売 66,200 56,411 63,119 68,918 74,450 -- -- -- 2,720 3,261 40% 44%
7. 人口及びGNP(千人)(億円)	'81 '82 '83 人口 54,091 54,345 54,537 GNP 728,460 829,980 N/A	'81 '82 '83 人口 56,379 56,335 56,377 GNP 820,875 895,160 974,694	'81 '82 '83 人口 15,049 15,276 15,452 GNP 221,000 251,498 272,000

5. 公共料金処理通知に関するユーザー意識調査分析データ

本調査は、東京ガスの営業区域内に居住する女性 350 名を対象に、昭和61年11月に行われ、327名(回収率93.4%)の回答を得た。巻末の分析結果(p43～p50)の設問については、以下の質問票を参照のこと。

5-1. 質問票

(1) あなたは、電気、ガス、水道について検針員が個別に訪問して検針しているのをご存じですか。(ひとつだけ)

1. すべて知っている
2. 一部知っている
3. ほとんど知らない

(2) 検針員についてお伺いします。

イ. あなたは、検針員と会話したことがありますか。(ひとつだけ)

- ↓
1. ある
 2. ない

ロ. イ. で「ある」とお答えになった方はその内容をご記入下さい。

(記入欄)

(3) あなたは、電話、電気、ガス、水道料金、NHK受信料の中で口座振替えにしているものはどれですか。しているものに○をつけて下さい。(いくつでも)

1. 電話
2. 電気
3. ガス
4. 水道
5. NHK

* (3) の質問で1つでも口座振替えを利用している方は、(3') の質問へ、口座振替えを利用していない方は、(4) の質問へお進み下さい。

(3') 口座振替えについてお伺いします。

イ. あなたは、口座からの引落日をご存じですか。(ひとつだけ)

1. すべて知っている
2. 一部知っている
3. ほとんど知らない
4. まったく知らない

ロ. 引落日の前に口座の残高を確認していますか。(ひとつだけ)

1. している
2. していない

ハ. あなたは引落日を給料日の翌日などと指定できたらよいと思いますか。

(ひとつだけ)

1. 指定できたらよい
2. 今のままでよい
3. どちらでもよい

(3'') 領収証が送られてきた時、あなたはどのように処理されていますか。

イ. 領収証の内容をご覧になっていますか。(ひとつだけ)

1. いつも見ている
2. 時々見ている
3. ほとんど見ない
4. 全然見ない

ロ. 領収証の内容についてお問合せをしたことがありますか。(ひとつだけ)

1. ある
2. ない

ハ. ロ. で「ある」とお答えになった方は具体的にお問合せの内容をご記入下さい。

(記入欄)

(4) あなたは領収証を保存されていますか。(ひとつだけ)

1. 保存しないで捨てる
2. 1ヶ月以内は保存している
3. 3ヶ月以内は保存している
4. 6ヶ月以内は保存している
5. 1年以内は保存している
6. 1年以上保存している

(5) あなたは公共料金の使用量(料)を家計簿等に記帳されていますか。(ひとつだけ)

- ↓
1. している
 2. していない

(5') (5)で「している」とお答えになった方にお伺いします。
では、家計簿に記帳されてから、どのように活用されていますか。(いくつでも)

1. 前月の金額と比較している
 2. 過去数ヶ月の金額と比較している
 3. 前年同月の金額と比較している
 4. 活用していない
 5. その他
- ()

(6) 公共料金の領収証についてお伺いします。

イ. 領収証は必要だと思いますか。(ひとつだけ)

- ↓
1. 必要
 2. 不必要

ロ. イ.で「不必要」とお答えになった方はその理由をお答え下さい。
(ひとつだけ)

1. 整理が大変
 2. あっても見ないから
 3. 預貯金通帳に記帳されるので特に必要がない
 4. その他
- ()

(7) 領収証と引落としの一本化についてお伺いします。

イ. 領収証について。これまで各社から個別に来ていた領収証が、仮に一枚の用紙(内容は個別に表示)に記入されて送られるすると、あなたはどのように思われますか。(ひとつだけ)

1. 便利である
2. 今まで通り、それぞれバラバラでよい
3. どちらでもよい

ロ. 引落としについて。これまで各社別々の日に引落されていたのを同じ日にまとめて引落すようになった場合、あなたはどのように思われますか。(ひとつだけ)

1. バラバラより一回にまとめて引落された方がよい
2. それぞれバラバラの方がよい
3. どちらでもよい

(8) 今後の口座振替え利用についてお伺いします。(ひとつだけ)

1. 今後とも継続して口座振替えを利用する
2. 近いうちに口座振替えを利用する
3. 今後とも口座振替えを利用するつもりはない
4. 口座振替えをやめようと思っている

(9) 公共料金に関するご意見、ご希望等がありましたら、ご自由にご記入下さい。

(記入欄)

以上で、公共料金についての質問を終わります。

*最後に、あなたご自身についてお伺いします。

お差し支えない範囲でお答え下さい。該当するものに○をつけて下さい。

- (1) 年 齢
- | | |
|-----------|-----------|
| 1. 25才以下 | 5. 41～50才 |
| 2. 26～30才 | 6. 51～60才 |
| 3. 31～35才 | 7. 61才以上 |
| 4. 36～40才 | |

- (2) ご結婚
- | | |
|--------|--------|
| 1. 既 婚 | 2. 未 婚 |
|--------|--------|

- (3) ご職業
- | | |
|-------------|--------|
| 1. 専業主婦 | 4. パート |
| 2. 自営業 | 5. その他 |
| 3. お勤め(正社員) | () |

- (4) 学 歴
- | | |
|-------------|-----------|
| 1. 中学・高校卒 | 3. 大学卒以上 |
| 2. 専門学校、短大卒 | 4. その他() |

- (5) お住い
1. 賃貸マンション・アパート
 2. 賃貸一戸建
 3. 社 宅
 4. 分譲マンション
 5. 持家一戸建

- (6) ご住所 _____ 県・都 _____ 市・区・郡

***ご協力ありがとうございました。**

5-2. 分析データ — その1

		(1) 年 齢									(2) ご結婚			(3) ご職業					
		1.	2.	3.	4.	5.	6.	7.	未回答	1.	2.	未回答	1.	2.	3. お勤め(正社員)	4.	5.	未回答	
		25才以下	26才30才	31才35才	36才40才	41才50才	51才60才	61才以上		既婚	未婚		専業主婦	自営業		パート	その他		
		100.0	4.5	14.0	20.4	25.9	21.1	8.2	3.9	1.5	92.3	5.5	2.1	52.5	7.0	17.7	17.1	3.3	2.1
(1)	1. すべて知っている	75.2	60.0	60.9	77.6	83.5	76.8	85.2	69.2	20.0	78.5	38.9	28.6	78.5	78.3	63.8	83.9	63.6	28.6
	2. 一部知っている	20.5	33.3	34.8	17.9	12.9	18.8	11.1	30.8	60.0	18.5	44.4	42.9	18.0	21.7	29.3	14.3	36.4	28.6
	3. ほとんど知らない	4.0	6.7	4.3	3.0	3.5	4.3	3.7	0.0	20.0	2.6	16.7	28.6	3.5	0.0	6.9	0.0	0.0	42.9
	未回答	0.3	0.0	0.0	1.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.8	0.0	0.0
(2)	1. ある	35.2	33.3	23.9	31.3	36.5	33.3	59.3	38.5	60.0	36.1	11.1	57.1	37.8	60.9	15.5	35.7	36.4	42.9
	2. ない	63.9	66.7	76.1	68.7	62.4	63.8	40.7	61.5	40.0	62.9	88.9	42.9	60.5	39.1	84.5	64.3	63.6	57.1
	未回答	0.9	0.0	0.0	0.0	1.2	2.9	0.0	0.0	0.0	1.0	0.0	0.0	1.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
(3)	1. 電話	84.1	60.0	84.8	85.1	84.7	88.4	85.2	69.2	100.0	85.4	61.1	85.7	86.0	73.9	84.5	82.1	72.7	100.0
	2. 電気	83.2	60.0	82.6	82.1	85.9	87.0	88.9	61.5	100.0	84.1	61.1	100.0	87.2	69.6	77.6	82.1	72.7	100.0
	3. ガス	81.0	53.3	76.1	79.1	84.7	84.1	88.9	84.6	80.0	82.8	55.6	71.4	84.9	65.2	77.6	78.6	81.8	85.7
	4. 水道	79.2	60.0	78.3	71.6	83.5	84.1	88.9	69.2	80.0	79.8	66.7	85.7	83.1	73.9	77.6	75.0	63.6	71.4
	5. NHK	63.6	33.3	56.5	61.2	63.5	71.0	81.5	61.5	60.0	65.9	33.3	42.9	65.7	52.2	62.1	67.9	54.5	42.9

		(1) 年 齢								(2) ご結婚			(3) ご職業						
		1.	2.	3.	4.	5.	6.	7.	未回答	1.	2.	未回答	1.	2.	3. お勤め(正社員)	4.	5.	未回答	
		25才以下	26才	31才	36才	41才	51才	61才以上		既婚	未婚	未回答	専業主婦	自営業		パート	その他		
(3') イ	1. すべて知っている	23.9	6.7	28.3	31.3	23.5	20.3	22.2	23.1	0.0	25.2	5.6	14.3	25.6	26.1	19.0	25.0	18.2	14.3
	2. 一部知っている	31.5	40.0	19.6	25.4	29.4	39.1	37.0	46.2	60.0	30.8	33.3	57.1	32.6	21.7	31.0	26.8	45.5	57.1
	3. ほとんど知らない	26.3	20.0	30.4	25.4	29.4	27.5	25.9	0.0	20.0	26.5	27.8	14.3	26.7	30.4	25.9	28.6	0.0	28.6
	4. まったく知らない	10.4	13.3	10.9	11.9	10.6	5.8	11.1	15.4	20.0	9.6	22.2	14.3	7.0	8.7	17.2	14.3	18.2	0.0
	未回答	8.0	20.0	10.9	6.0	7.1	7.2	3.7	15.4	0.0	7.9	11.1	0.0	8.1	13.0	6.9	5.4	18.2	0.0
□	1. している	38.8	26.7	43.5	35.8	32.9	44.9	44.4	46.2	40.0	40.1	16.7	42.9	39.5	39.1	24.1	53.6	36.4	28.6
	2. していない	52.3	40.0	45.7	56.7	60.0	47.8	51.9	38.5	60.0	51.7	61.1	57.1	52.3	47.8	65.5	39.3	45.5	71.4
	未回答	8.9	33.3	10.9	7.5	7.1	7.2	3.7	15.4	0.0	8.3	22.2	0.0	8.1	13.0	10.3	7.1	18.2	0.0
ハ	1. 指定できたらよい	35.5	53.3	41.3	40.3	31.8	36.2	25.9	15.4	20.0	34.8	55.6	14.3	35.5	30.4	44.8	32.1	18.2	28.6
	2. 今のままでよい	26.6	20.0	19.6	22.4	24.7	30.4	40.7	38.5	40.0	27.5	5.6	42.9	27.9	21.7	20.7	28.6	27.3	42.9
	3. どちらでもよい	29.4	0.0	28.3	31.3	35.3	26.1	29.6	30.8	40.0	29.5	22.2	42.9	28.5	34.8	24.1	33.9	36.4	28.6
	未回答	8.6	26.7	10.9	6.0	8.2	7.2	3.7	15.4	0.0	8.3	16.7	0.0	8.1	13.0	10.3	5.4	18.2	0.0
(3'') イ	1. いつも見ている	61.2	53.3	63.0	67.2	60.0	58.0	59.3	69.2	40.0	62.6	44.4	42.9	68.6	60.9	48.3	60.7	36.4	28.6
	2. 時々見ている	24.8	20.0	21.7	22.4	27.1	26.1	25.9	15.4	60.0	23.5	33.3	57.1	19.2	13.0	32.8	30.4	36.4	71.4
	3. ほとんど見ない	4.9	0.0	6.5	4.5	4.7	5.8	7.4	0.0	0.0	5.3	0.0	0.0	4.7	8.7	8.6	0.0	9.1	0.0
	4. 全然見ない	1.5	0.0	0.0	1.5	2.4	1.4	3.7	0.0	0.0	1.3	5.6	0.0	0.0	4.3	3.4	3.6	0.0	0.0
	未回答	7.6	26.7	8.7	4.5	5.9	8.7	3.7	15.4	0.0	7.3	16.7	0.0	7.6	13.0	6.9	5.4	18.2	0.0
□	1. ある	11.9	6.7	13.0	19.4	9.4	10.1	11.1	0.0	20.0	12.6	0.0	14.3	14.5	8.7	8.6	12.5	0.0	0.0
	2. ない	79.5	60.0	78.3	73.1	83.5	81.2	88.9	84.6	80.0	79.1	83.3	85.7	77.3	82.6	81.0	82.1	81.8	85.7
	未回答	8.6	33.3	8.7	7.5	7.1	8.7	0.0	15.4	0.0	8.3	16.7	0.0	8.1	8.7	10.3	5.4	18.2	14.3

		(1) 年 齢								(2) ご結婚			(3) ご職業						
		1.	2.	3.	4.	5.	6.	7.	未回答	1.	2.	未回答	1.	2.	3. お勤め(正社員)	4.	5.	未回答	
		25才以下	26才	31才	36才	41才	51才	61才以上		既婚	未婚		専業主婦	自営業		パート	その他		
(4)	1. 保存しないで捨てる	13.1	0.0	21.7	11.9	14.1	11.6	11.1	15.4	0.0	13.2	16.7	0.0	12.2	4.3	22.4	12.5	9.1	0.0
	2. 1ヶ月以内は保存している	12.8	6.7	8.7	19.4	15.3	10.1	7.4	7.7	20.0	12.9	11.1	14.3	12.8	13.0	12.1	14.3	9.1	14.3
	3. 3ヶ月以内は保存している	11.3	6.7	15.2	10.4	9.4	14.5	11.1	7.7	0.0	11.9	5.6	0.0	12.2	0.0	10.3	14.3	18.2	0.0
	4. 6ヶ月以内は保存している	8.3	26.7	6.5	7.5	8.2	8.7	0.0	7.7	20.0	8.3	5.6	14.3	9.3	0.0	8.6	7.1	0.0	28.6
	5. 1年以内は保存している	23.2	26.7	15.2	23.9	20.0	30.4	25.9	23.1	20.0	22.8	33.3	14.3	22.7	17.4	17.2	26.8	63.6	14.3
	6. 1年以上保存している	26.3	26.7	26.1	19.4	27.1	23.2	40.7	38.5	40.0	25.8	22.2	57.1	25.0	56.5	24.1	23.2	0.0	42.9
	未回答	4.9	6.7	6.5	7.5	5.9	1.4	3.7	0.0	0.0	5.0	5.6	0.0	5.8	8.7	5.2	1.8	0.0	0.0
(5)	1. している	26.9	26.7	30.4	16.4	27.1	30.4	33.3	30.8	40.0	27.5	11.1	42.9	26.2	52.2	22.4	17.9	36.4	57.1
	2. していない	72.5	66.7	69.6	83.6	72.9	69.6	66.7	61.5	60.0	72.2	83.3	57.1	73.8	47.8	75.9	82.1	54.5	42.9
	未回答	0.6	6.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.7	0.0	0.3	5.6	0.0	0.0	0.0	1.7	0.0	9.1	0.0
(5')	1. 前月の金額と比較している	15.3	20.0	13.0	13.4	11.8	20.3	18.5	23.1	0.0	15.9	11.1	0.0	15.7	21.7	19.0	10.7	9.1	0.0
	2. 過去数ヶ月の金額と比較している	11.9	13.3	17.4	4.5	14.1	13.0	7.4	15.4	20.0	12.3	0.0	28.6	12.2	13.0	6.9	8.9	27.3	42.9
	3. 前年同月の金額と比較している	10.4	6.7	17.4	9.0	7.1	10.1	18.5	0.0	20.0	10.6	0.0	28.6	10.5	13.0	5.2	10.7	9.1	42.9
	4. 活用していない	2.1	0.0	2.2	0.0	3.5	1.4	3.7	7.7	0.0	2.0	5.6	0.0	1.2	13.0	0.0	3.6	0.0	0.0
	5. その他	0.3	0.0	0.0	1.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	0.0	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

		(1) 年 齢								(2) ご結婚			(3) ご職業						
		1.	2.	3.	4.	5.	6.	7.	未回答	1.	2.	未回答	1.	2.	3. お勤め(正社員)	4.	5.	未回答	
		25才以下	26才	31才	36才	41才	51才	61才以上		既婚	未婚		専業主婦	自営業		パート	その他		
(6) イ	1. 必要	93.3	100.0	89.1	95.5	92.9	95.7	85.2	100.0	80.0	93.4	94.4	85.7	93.0	95.7	89.7	98.2	90.9	88.7
	2. 不必要	6.7	0.0	10.9	4.5	7.1	4.3	14.8	0.0	20.0	6.6	5.6	14.3	7.0	4.3	10.3	1.8	9.1	14.3
	未回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
□	1. 整理が大変	0.3	0.0	0.0	1.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	1.7	0.0	0.0	0.0
	2. あっても見ないから	0.6	0.0	0.0	0.0	1.2	0.0	3.7	0.0	0.0	0.7	0.0	0.0	0.0	4.3	1.7	0.0	0.0	0.0
	3. 預貯金通帳に記載されるので特に必要がない	5.8	0.0	10.9	3.0	5.9	4.3	11.1	0.0	20.0	5.6	5.6	14.3	7.0	0.0	6.9	1.8	9.1	14.3
	4. その他	0.6	0.0	0.0	1.5	0.0	0.0	0.0	7.7	0.0	0.7	0.0	0.0	1.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	未回答	92.7	100.0	89.1	94.0	92.9	95.7	85.2	92.3	80.0	92.7	94.4	85.7	91.9	95.7	89.7	98.2	90.9	85.7
(7) イ	1. 便利である	65.1	46.7	73.9	68.7	61.2	76.8	48.1	38.5	60.0	65.6	55.6	71.4	68.0	43.5	70.7	60.7	63.6	57.1
	2. 今まで通り、それぞれバラバラでよい	17.1	13.3	6.5	14.9	17.6	14.5	40.7	30.8	20.0	17.9	5.6	14.3	15.7	47.8	6.9	19.6	18.2	14.3
	3. どちらでもよい	16.8	33.3	19.6	14.9	21.2	8.7	11.1	23.1	20.0	15.9	33.3	14.3	15.7	8.7	20.7	19.6	9.1	28.6
	未回答	0.9	6.7	0.0	1.5	0.0	0.0	0.0	7.7	0.0	0.7	5.6	0.0	0.6	0.0	1.7	0.0	9.1	0.0
□	1. バラバラより一回にまとめて引落された方がよい	53.2	40.0	63.0	61.2	42.4	56.5	59.3	38.5	40.0	54.0	44.4	42.9	51.2	34.8	62.1	62.5	36.4	42.9
	2. それぞれバラバラの方がよい	13.8	26.7	10.9	11.9	16.5	14.5	11.1	0.0	20.0	13.2	22.2	14.3	15.1	30.4	10.3	8.9	9.1	0.0
	3. どちらでもよい	30.6	20.0	26.1	25.4	41.2	24.6	29.6	46.2	40.0	30.5	27.8	42.9	32.0	30.4	25.9	28.6	27.3	57.1
	未回答	2.4	13.3	0.0	1.5	0.0	4.3	0.0	15.4	0.0	2.3	5.6	0.0	1.7	4.3	1.7	0.0	27.3	0.0
(8)	1. 今後とも継続して口座振替を利用する	86.2	53.3	87.0	88.1	87.1	91.3	85.2	84.6	80.0	87.1	77.8	71.4	90.1	65.2	81.0	89.3	81.8	85.7
	2. 近いうちに口座振替を利用する	2.4	0.0	2.2	3.0	2.4	2.9	3.7	0.0	0.0	2.0	5.6	14.3	1.2	4.3	6.9	1.8	0.0	0.0
	3. 今後とも口座振替を利用するつもりはない	6.4	13.3	8.7	4.5	7.1	4.3	3.7	15.4	0.0	7.0	0.0	0.0	7.6	17.4	1.7	1.8	18.2	0.0
	4. 口座振替をやめようと思っている	1.5	0.0	2.2	1.5	2.4	0.0	3.7	0.0	0.0	1.7	0.0	0.0	0.6	4.3	1.7	3.6	0.0	0.0
	未回答	3.4	33.3	0.0	3.0	1.2	1.4	3.7	0.0	20.0	2.3	16.7	14.3	0.6	8.7	8.6	3.6	0.0	14.3

分析データ — その2

		(4) 学 歴					(5) お住い						(6) ご住所						
		1. 中 学 ・ 高 校 卒	2. 専 門 学 校 、 短 大 卒	3. 大 学 卒 以 上	4. そ の 他	未 回 答	1. 買 入 マ ン シ ョ ン	2. ア パ ー ト ・ 買 入 一 戸 建	3. 社 宅	4. 分 譲 マ ン シ ョ ン	5. 持 家 一 戸 建	未 回 答	1 都 内	2 都 下	3 神 奈 川	4 千 葉	5 埼 玉	未 回 答	
		100.0	47.7	23.8	22.3	1.5	4.5	27.5	2.7	14.9	14.3	36.6	3.6	64.2	1.5	27.8	2.4	0.9	3.0
(1)	1. すべて知っている	75.2	82.1	71.8	69.9	80.0	46.7	72.2	88.9	81.6	78.7	75.0	50.0	74.3	60.0	80.2	75.0	100.0	50.0
	2. 一部知っている	20.5	14.1	28.2	23.3	20.0	33.3	25.6	11.1	12.2	19.1	20.8	25.0	21.4	20.0	17.6	25.0	0.0	30.0
	3. ほとんど知らない	4.0	3.2	0.0	6.8	0.0	20.0	2.2	0.0	6.1	2.1	3.3	25.0	4.3	20.0	1.1	0.0	0.0	20.0
	未 回 答	0.3	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0	1.1	0.0	0.0	0.0
(2)	1. ある	35.2	33.3	38.5	35.6	60.0	26.7	25.6	66.7	32.7	25.5	45.0	33.3	33.3	20.0	39.6	62.5	66.7	10.0
	2. ない	63.9	65.4	60.3	64.4	40.0	73.3	73.3	33.3	65.3	74.5	54.2	66.7	65.7	80.0	59.3	37.5	33.3	90.0
	未 回 答	0.9	1.3	1.3	0.0	0.0	0.0	1.1	0.0	2.0	0.0	0.8	0.0	1.0	0.0	1.1	0.0	0.0	0.0
(3)	1. 電 話	84.1	77.6	91.0	89.0	100.0	86.7	78.9	88.9	79.6	93.6	85.0	91.7	84.3	100.0	82.4	75.0	100.0	90.0
	2. 電 気	83.2	75.6	91.0	89.0	100.0	86.7	73.3	88.9	79.6	95.7	87.5	75.0	82.9	100.0	82.4	75.0	100.0	90.0
	3. ガ ス	81.0	73.7	87.2	89.0	100.0	80.0	66.7	88.9	81.6	95.7	86.7	66.7	81.9	100.0	75.8	87.5	100.0	90.0
	4. 水 道	79.2	72.4	82.1	90.4	80.0	80.0	67.8	77.8	75.5	93.6	85.0	66.7	81.0	100.0	73.6	62.5	100.0	90.0
	5. NHK	63.6	57.7	69.2	69.9	80.0	60.0	47.8	44.4	71.4	74.5	70.8	50.0	63.8	80.0	64.8	50.0	33.3	60.0

		(4) 学 歴					(5) お住い					(6) ご住所							
		1.	2.	3.	4.	未回答	1.	2.	3.	4.	5.	未回答	1	2	3	4	5	未回答	
		中学・高校卒	専門学校、短大卒	大学卒以上	その他		賃貸マンション	アパート、戸建	社 宅	分譲マンション	持家一戸建		都 内	都 下	神 奈 川	千 葉	埼 玉		
(3') イ	1. サベて知っている	23.9	28.2	16.7	23.3	20.0	20.0	22.2	22.2	20.4	36.2	22.5	16.7	23.3	0.0	27.5	37.5	33.3	0.0
	2. 一部知っている	31.5	30.1	38.5	23.3	40.0	46.7	32.2	33.3	40.8	19.1	29.2	58.3	31.9	20.0	29.7	25.0	33.3	50.0
	3. ほとんど知らない	26.3	22.4	30.8	30.1	40.0	20.0	21.1	33.3	20.4	29.8	30.8	25.0	26.7	60.0	22.0	12.5	33.3	50.0
	4. まったく知らない	10.4	8.3	9.0	16.4	0.0	13.3	12.2	11.1	10.2	10.6	10.0	0.0	9.5	20.0	13.2	12.5	0.0	0.0
	未 回 答	8.0	10.9	5.1	6.8	0.0	0.0	12.2	0.0	8.2	4.3	7.5	0.0	8.6	0.0	7.7	12.5	0.0	0.0
□	1. している	38.8	41.0	42.3	31.5	20.0	40.0	43.3	22.2	28.6	46.8	38.3	33.3	38.1	0.0	46.2	25.0	33.3	20.0
	2. していない	52.3	46.8	51.3	61.6	80.0	60.0	43.3	66.7	63.3	48.9	53.3	66.7	52.4	100.0	45.1	62.5	66.7	80.0
	未 回 答	8.9	12.2	6.4	6.8	0.0	0.0	13.3	11.1	8.2	4.3	8.3	0.0	9.5	0.0	8.8	12.5	0.0	0.0
ハ	1. 指定できたらよい	35.5	34.0	41.0	38.4	20.0	13.3	36.7	55.6	34.7	34.0	35.0	25.0	35.7	40.0	33.0	50.0	66.7	30.0
	2. 今のままでよい	26.6	26.3	26.9	21.9	20.0	53.3	28.9	11.1	20.4	17.0	29.2	58.3	24.8	20.0	31.9	12.5	0.0	40.0
	3. どちらでもよい	29.4	28.2	26.9	31.5	60.0	33.3	21.1	33.3	36.7	42.6	28.3	16.7	31.0	20.0	26.4	25.0	33.3	30.0
	未 回 答	8.6	11.5	5.1	8.2	0.0	0.0	13.3	0.0	8.2	6.4	7.5	0.0	8.6	20.0	8.8	12.5	0.0	0.0
(3'') イ	1. いつも見ている	61.2	62.2	64.1	57.5	80.0	46.7	57.8	77.8	61.2	61.7	63.3	50.0	60.0	40.0	67.0	75.0	100.0	20.0
	2. 時々見ている	24.8	20.5	23.1	31.5	20.0	46.7	23.3	22.2	26.5	27.7	21.7	50.0	24.8	60.0	19.8	12.5	0.0	70.0
	3. ほとんど見ない	4.9	3.8	7.7	5.5	0.0	0.0	5.6	0.0	2.0	6.4	5.8	0.0	6.2	0.0	3.3	0.0	0.0	0.0
	4. 全然見ない	1.5	2.6	0.0	0.0	0.0	6.7	2.2	0.0	2.0	0.0	1.7	0.0	1.0	0.0	2.2	0.0	0.0	10.0
	未 回 答	7.6	10.9	5.1	5.5	0.0	0.0	11.1	0.0	8.2	4.3	7.5	0.0	8.1	0.0	7.7	12.5	0.0	0.0
□	1. ある	11.9	8.3	17.9	15.1	20.0	0.0	7.8	11.1	12.2	19.1	13.3	0.0	16.2	0.0	5.5	0.0	0.0	0.0
	2. ない	79.5	80.1	75.6	78.1	80.0	100.0	80.0	77.8	79.6	74.5	79.2	100.0	74.3	100.0	87.9	87.5	66.7	100.0
	未 回 答	8.6	11.5	6.4	6.8	0.0	0.0	12.2	11.1	8.2	6.4	7.5	0.0	9.5	0.0	6.6	12.5	33.3	0.0

		(4) 学 歴					(5) お住い					(6) ご住所							
		1. 中学・高校卒	2. 専門学校、短大卒	3. 大学卒以上	4. その他	未回答	1. アパート・マンション	2. 賃貸一戸建	3. 社 宅	4. 分譲マンション	5. 持家一戸建	未回答	1 都 内	2 都 下	3 神 奈 川	4 千 葉	5 埼 玉	未回答	
(4)	1. 保存しないで捨てる	13.1	11.5	14.1	17.8	20.0	0.0	10.0	11.1	8.2	17.0	16.7	8.3	13.3	0.0	15.4	0.0	33.3	0.0
	2. 1ヶ月以内は保存している	12.8	12.2	14.1	12.3	20.0	13.3	14.4	0.0	18.4	14.9	10.0	8.3	13.3	40.0	11.0	0.0	0.0	20.0
	3. 3ヶ月以内は保存している	11.3	14.1	9.0	9.6	0.0	6.7	14.4	11.1	14.3	4.3	11.7	0.0	11.4	20.0	8.8	12.5	33.3	20.0
	4. 6ヶ月以内は保存している	8.3	6.4	10.3	8.2	0.0	20.0	12.2	33.3	4.1	4.3	5.0	25.0	8.1	0.0	7.7	0.0	33.3	20.0
	5. 1年以内は保存している	23.2	26.3	25.6	16.4	20.0	13.3	23.3	11.1	30.6	12.8	25.0	25.0	21.4	20.0	29.7	25.0	0.0	10.0
	6. 1年以上保存している	26.3	25.6	23.1	30.1	40.0	26.7	25.6	33.3	18.4	34.0	26.7	25.0	26.7	20.0	23.1	62.5	0.0	30.0
	未 回 答	4.9	3.8	3.8	5.5	0.0	20.0	0.0	0.0	6.1	12.8	5.0	8.3	5.7	0.0	4.4	0.0	0.0	0.0
(5)	1. している	26.9	26.3	25.6	32.9	0.0	20.0	23.3	55.6	18.4	25.5	30.0	41.7	26.2	40.0	27.5	50.0	0.0	20.0
	2. していない	72.5	73.7	73.1	67.1	100.0	73.3	76.7	44.4	81.6	74.5	68.3	58.3	73.3	60.0	71.4	50.0	100.0	80.0
	未 回 答	0.6	0.0	1.3	0.0	0.0	6.7	0.0	0.0	0.0	0.0	1.7	0.0	0.5	0.0	1.1	0.0	0.0	0.0
(5')	1. 前月の金額と比較している	15.3	14.7	15.4	19.2	0.0	6.7	14.4	22.2	8.2	17.0	18.3	8.3	14.8	20.0	15.4	50.0	0.0	0.0
	2. 過去数ヶ月の金額と比較している	11.9	9.6	11.5	16.4	0.0	20.0	12.2	0.0	10.2	12.8	11.7	25.0	12.9	20.0	8.8	12.5	0.0	20.0
	3. 前年同月の金額と比較している	10.4	9.0	11.5	12.3	0.0	13.3	11.1	33.3	4.1	10.6	10.0	16.7	10.5	0.0	11.0	0.0	0.0	20.0
	4. 活用していない	2.1	1.9	1.3	4.1	0.0	0.0	2.2	0.0	2.0	0.0	2.5	8.3	2.4	0.0	1.1	12.5	0.0	0.0
	5. その他	0.3	0.0	0.0	1.4	0.0	0.0	1.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

		(4) 学 歴					(5) お住い					(6) ご住所							
		1. 中学・高校卒	2. 専門学校、短大卒	3. 大学卒以上	4. その他	未回答	1. 賃貸マンション	2. 賃貸一戸建	3. 社 宅	4. 分譲マンション	5. 持家一戸建	未回答	1 都 内	2 都 下	3 神 奈 川	4 千 葉	5 埼 玉	未回答	
(6) イ	1. 必要	93.3	95.5	89.7	94.5	80.0	86.7	94.4	77.8	98.0	91.5	92.5	91.7	94.3	100.0	91.2	100.0	100.0	80.0
	2. 不必要	6.7	4.5	10.3	5.5	20.0	13.3	5.6	22.2	2.0	8.5	7.5	8.3	5.7	0.0	8.8	0.0	0.0	20.0
	未回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
□	1. 整理が大変	0.3	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	1.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	2. あっても見ないから	0.6	0.6	0.0	0.0	0.0	6.7	1.1	0.0	0.0	0.0	0.8	0.0	0.5	0.0	1.1	0.0	0.0	0.0
	3. 預貯金通帳に記載されるので特に必要がない	5.8	3.2	10.3	5.5	20.0	6.7	3.3	22.2	2.0	8.5	6.7	8.3	4.8	0.0	7.7	0.0	0.0	20.0
	4. その他	0.6	0.0	0.0	1.4	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.7	0.0	0.0	0.0	0.0	2.2	0.0	0.0	0.0
	未回答	92.7	95.5	89.7	93.2	60.0	86.7	94.4	77.8	98.0	91.5	90.8	91.7	94.3	100.0	89.0	100.0	100.0	80.0
(7) イ	1. 便利である	65.1	60.3	70.5	76.7	40.0	40.0	62.2	55.6	71.4	63.8	66.7	58.3	67.1	100.0	61.5	50.0	66.7	50.0
	2. 今まで通り、それぞれバラバラでよい	17.1	21.8	12.8	9.6	20.0	26.7	15.6	33.3	14.3	14.9	18.3	25.0	16.7	0.0	18.7	25.0	33.3	10.0
	3. どちらでもよい	16.8	17.3	15.4	13.7	40.0	26.7	21.1	11.1	14.3	21.3	13.3	16.7	15.2	0.0	18.7	25.0	0.0	40.0
	未回答	0.9	0.6	1.3	0.0	0.0	6.7	1.1	0.0	0.0	0.0	1.7	0.0	1.0	0.0	1.1	0.0	0.0	0.0
□	1. バラバラより一回にまとめて引落された方がよい	53.2	55.1	47.4	60.3	40.0	33.3	55.6	88.9	55.1	42.6	53.3	41.7	54.8	100.0	49.5	37.5	66.7	40.0
	2. それぞれバラバラの方がよい	13.8	13.5	16.7	12.3	0.0	13.3	15.6	11.1	12.2	12.8	13.3	16.7	12.9	0.0	18.7	0.0	33.3	0.0
	3. どちらでもよい	30.6	28.2	34.6	26.0	60.0	46.7	24.4	0.0	32.7	44.7	30.0	41.7	30.0	0.0	28.6	62.5	0.0	60.0
	未回答	2.4	3.2	1.3	1.4	0.0	6.7	4.4	0.0	0.0	0.0	3.3	0.0	2.4	0.0	3.3	0.0	0.0	0.0
(8)	1. 今後とも継続して口座振替えを利用する	86.2	82.7	89.7	90.4	100.0	80.0	78.9	88.9	85.7	93.6	90.0	75.0	86.2	80.0	86.8	87.5	66.7	90.0
	2. 近いうちに口座振替えを利用する	2.4	1.9	3.8	1.4	0.0	6.7	3.3	0.0	6.1	0.0	1.7	0.0	2.9	0.0	2.2	0.0	0.0	0.0
	3. 今後とも口座振替えを利用するつもりはない	6.4	9.0	2.6	6.8	0.0	0.0	10.0	0.0	8.2	4.3	3.3	16.7	8.1	0.0	3.3	12.5	0.0	0.0
	4. 口座振替えをやめようと思っている	1.5	2.6	1.3	0.0	0.0	0.0	3.3	0.0	0.0	0.0	1.7	0.0	1.4	0.0	2.2	0.0	0.0	0.0
	未回答	3.4	3.8	2.6	1.4	0.0	13.3	4.4	11.1	0.0	2.1	3.3	8.3	1.4	20.0	5.5	0.0	33.3	10.0

この報告書は、日本自転車振興会から競輪収益の一部である機械工業振興資金の補助を受けて作成したものである。

公共料金処理通知の共同化に
関する調査報告書

発行日 昭和62年1月
発行 財団法人 データベース振興センター
〒105
東京都港区浜松町2丁目4番1号
世界貿易センタービル7階
電話 03(459)8581(代)

印刷所 株式会社 正文社
〒113
東京都文京区本郷3丁目38番14号
電話 03(815)7271

(無断転載禁)

